

EDI 標準化仕様

家電業界標準化仕様をご採用いただきますと、流通・メーカーともに業務の効率化だけでなく、システム構築のスピードアップも実現します。ご採用いただきますようお願い申し上げます。

家電業界における、ビジネスプロトコルと電子データ交換についての具体的標準化内容をとりまとめています。

家電業界における流通情報化への取り組み ～ビジネスプロトコルとEDI～

第5版 改訂第4版
令和4年12月

はじめに	
第1章 家電業界における情報標準化への取り組み	第2章 E-VAN 標準化内容
第3章 R-VAN 標準化内容	第4章 納期目安情報連携サービス標準化内容
第5章 JD-NET システム概要	第6章 今後の取り組み課題
キーワード検索	
全ページダウンロード (7MB)	アーカイブ(第5版改訂第3版)(6.07MB)

はじめに

当会は、家電業界の流通情報効率化に取り組むため、1985年に「POS促進委員会」を発足させ、1986年に「流通ビジネスオートメーション委員会」に改称、1995年には「流通EDI標準化推進委員会」に改称し、これまで、大きく変化する業界課題や情報ネットワーク技術の進化に的確に対応した委員会活動を続けて参りました。

本書は、2007年3月の「第5版改訂版」を見直した2015年4月「第5版改訂第3版」のEDI標準化仕様を、改正電子帳簿保存法、電子インボイス対応、ISDN(INSネット)廃止などに対応すべく見直し、発行するものです。

本書が家電業界の発展や、業務の効率化に少しでもお役に立てれば、幸甚です。

2022年12月

一般財団法人家電製品協会

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

1. [家電業界EDI標準化の変遷](#) >
2. [標準EDIフローと受発注システム比較](#) >
3. [各種EDI背景、経過、概要](#) >
 - 3-1-1. [E-VAN\(家電VAN\)](#)
 - 3-1-2. [拡張E-VAN\(拡張家電VAN\)](#)
 - 3-2. [R-VAN\(リアルタイム家電VAN\)](#)
 - 3-3. [R-Web\(家電Web受発注システム\)](#)
 - 3-4. [納期目安情報連携サービス](#)
 - 3-5. [新・商品情報伝達システム\(JD-NET\)](#)

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

1. 家電業界EDI標準化の変遷

* <内コメント: 導入事由

1986年 4月	・統一商品コードの制定(JAN標準・短縮コードの採用) <企業間の情報精度の向上、情報速度の向上、情報化の促進>
4月	・ソースマーキングの実施(JANバーシMBOL・OCR用文字併記) <インスタマーキングの手間削減、取引情報精度向上>
4月	・商品コード伝達システム稼働 <統一商品コード(JANコード)の普及・伝達>
8月	・統一伝票E様式の制定 <企業間の標準化による合理化、EDI受発注の促進、プリンターセッティングの手間削減>
9月	・受発注データ統一フォーマットの制定 <企業間の標準化による合理化、精度向上、迅速化>
1987年 6月	・納品・請求・支払データ統一フォーマットの制定 <企業間の標準化による合理化、精度向上、迅速化>
1988年 3月	・「家電業界におけるビジネスオートメーションへの対応(イエローブック)」初版発行
4月	・E-VAN(家電VAN)稼働 <企業間データ交換の促進、業界全体の効率化・合理化>
1990年 6月	・型式(型番・品番)設定のガイドライン制定 <統一商品コード補完のための色・Hzの標準化>
6月	・「家電業界におけるビジネスオートメーションへの対応(イエローブック)」第2版発行
7月	R-VAN(リアルタイム家電VAN)フォーマットの制定 <発注・在庫照会のリアルタイム化>
1991年 9月	・R-VAN(リアルVAN)稼働 <発注・在庫照会のリアルタイム化>
1993年 4月	・商品情報伝達システム稼働(商品コード伝達システム停止) <メーカー保有商品マスターの伝達、流通企業各社の省力化>
1994年 4月	・統一伝票E様式の改訂 <業務の標準化、データ交換フォーマットの整合性>
1995年 4月	・FAX-OCR 様式の制定 <受発注業務の効率化・コスト削減>
1996年 7月	・「家電業界における流通情報化への取り組み(イエローブック)」第3版発行
1999年 4月	・JD-NET(新・商品情報伝達システム)稼働 <流通企業各社の販促活動の合理化・効率化の促進>
4月	・「家電業界における流通情報化への取り組み(イエローブック)」第4版発行
2002年 2月	・R-Web(家電Web受発注システム)統一フォーマットの制定 <発注業務コストの低減、EDI受発注の拡大>
5月	・実売データ、在庫データ、納品結果データ統一フォーマットの制定 <企業間の標準化による合理化、精度向上、迅速化>
6月	・R-Web(家電Web受発注システム)稼働 <発注業務コストの低減、EDI受発注の拡大>
2003年 3月	・商品情報伝達システム停止 <JD-NETへ移行>
4月	・E-VAN の新IPネットワークを採用 <VAN 料金の低廉化、高速通信化、高セキュリティ化>

	・.com Exchangeの適用
2004年 1月	・移動データ統一フォーマットの制定 〈売上管理の精度向上と省力化〉
6月	・「家電業界における流通情報化への取り組み(イエローブック)」第5版発行
2006年 10月	・流通BMSの共同実証開始
2009年 1月	・新商品情報システム(JD-NET)の内容を刷新し稼働開始
2012年 11月	・流通BMSの対応
2015年 4月	・拡張E-VAN(拡張家電 VAN)制定
2015年 5月	・納期目安情報連携サービス統一フォーマット制定
2016年 2月	・納期目安情報連携サービス稼働 〈受発注業務コストの低減〉
2022年3-6月	・INSネット廃止への対応(EDIベンダー、流通等へのIP網切替動向調査)
2022年12月	・INSネット廃止への対応(EDI標準化仕様の全面見直し)

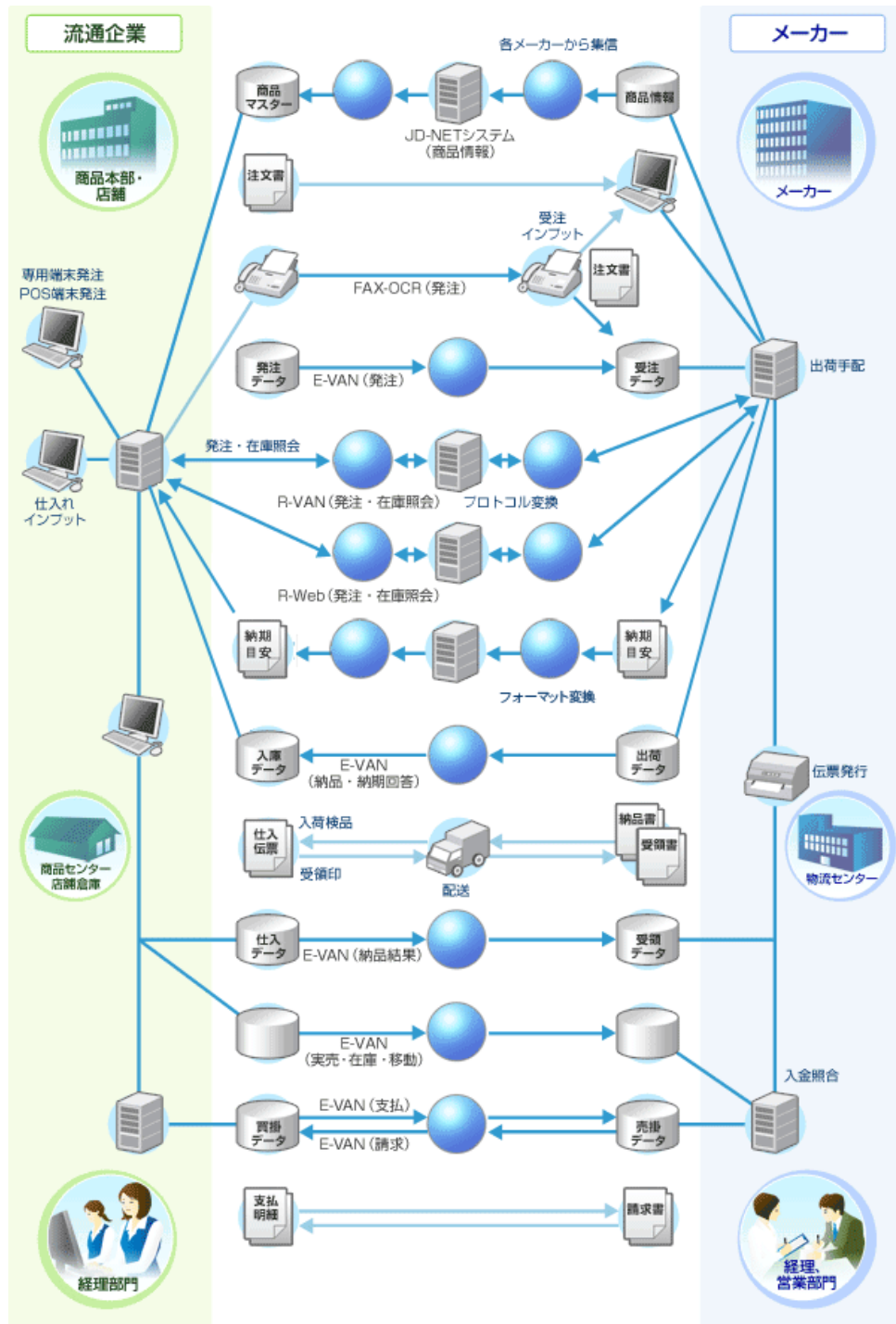
EDI 標準化仕様

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

2. 標準EDIフローと受発注システム比較

(1) 家電業界標準EDIフロー

標準化が制定されたEDIを流通企業とメーカーとの間で発生する業務の中で対比させると図の様になります。但し、紙面の関係で全ては盛り込めないこと、業務の名称や流れもここに記載したものが全てではないことは予めご了承ください。



(2) 家電業界の受発注システム

	E-VAN (家電VAN)	R-VAN (リアルタイムVAN)	R-Web (インターネット型VAN)	FAX-OCR (OCR注文書をFAX)
主な運用目的と対象	EDIの実現 ● 発注(一括・補充)	店頭での利用 ● 発注・納期指定発注	店頭での利用 ● 発注・納期指定発注	店頭での利用 ● 発注

		●メーカー在庫照会	●メーカー在庫照会	
接続先	VANまたは各メーカーへ送信	メーカー共同VANへの接続	メーカー共同WWWサーバーへの接続	各メーカー受注センターの指定ダイヤルへ送信
通信方法	VAN経由データ伝送	VAN経由リアルタイム接続	WWWサーバー経由リアルタイム接続	公衆回線(FAX)
伝送頻度	バッチ一括	都度	都度	都度
端末・設備	ホストコンピューターオフコン、サーバー	POS、ホストコンピューター、オフコン、サーバー等	インターネットブラウザ	FAX
運用メリット	<ul style="list-style-type: none"> ●事務手続の軽減 ●正確で迅速な手配 ●データ管理の実現 	<ul style="list-style-type: none"> ●リアルタイムな商品手配 ●在庫、納期の確認 ●休日、夜間の利用 	<ul style="list-style-type: none"> ●リアルタイムな商品手配 ●在庫、納期の確認 ●休日、夜間の利用 	流通側のシステム化が無くても可能 電話問合せ時間等のロスタイムの削減
制約事項	対応伝票 <ul style="list-style-type: none"> ●統一伝票E様式 	対応伝票 <ul style="list-style-type: none"> ●統一伝票E様式 ●CS伝票タイプI型 1回の発注は3明細	対応伝票 <ul style="list-style-type: none"> ●統一伝票E様式 ●CS伝票タイプI型 1回の発注は6明細	OCR用紙への手書き記入が必要

これらのシステムの対応状況はメーカーごとに違いがありますので、具体化にあたってはメーカー、流通企業双方で詳細な打ち合わせが必要になります。

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

3. 各種EDI背景、経過、概要

3-1-1.E-VAN(家電VAN)

統一仕様及び運用基準

[1] 授受するデータの種類

- a. 受発注データ
流通企業がメーカーに向けて商品注文の情報をデータで提供
- b. 納期回答データ
メーカーが流通企業に向けて、商品注文に対する納期に関する情報をデータで提供
- c. 納品データ
メーカーが商品出荷情報を流通企業にデータ活用目的に応じて商品着荷前、または着荷後に提供
- d. 欠品データ
メーカーが流通企業に向けて、メーカー側で商品在庫引当て出来なかった情報をデータで提供
- e. 納品結果データ
流通企業がメーカーに向けて、納品後から請求・支払以前にデータとして提供
- f. 請求データ
メーカーが流通企業に向けて、請求書の内容情報をデータで提供
- g. 支払データ
流通企業がメーカーに向けて、支払通知の内容情報をデータで提供
- h. 実売データ
流通企業がメーカーに向けて、店舗の売上情報をデータで提供
- i. 在庫データ
流通企業がメーカーに向けて、店舗及びデポ(保管倉庫)在庫情報をデータで提供
- j. 移動データ
流通企業がメーカーに向けて、商品の店舗間移動に関する情報をデータで提供

[2] データ交換の基本条件

- a. 統一商品コード(JANコード)の利用
- b. 統一標準フォーマットの利用
- c. 共通取引先コードの利用
- d. 統一伝票E様式の利用

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

3. 各種EDI背景、経過、概要

3-1-2. 拡張E-VAN(拡張家電VAN)

(1)趣旨

流通BMSの普及に伴い、取り扱える情報項目の拡充を目的とし、家電VANのデータ項目を追加(拡張)しました。

(2)拡張対応を行ったデータ種

[1] 授受するデータの種類

- a. 受発注データ
- b. 納品データ
- c. 納品結果データ
- d. 請求データ
- e. 支払データ

標準化内容につきましては、『[第2章 E-VAN標準化内容](#)』を参照ください。

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

3. 各種EDI背景、経過、概要

3-2.R-VAN(リアルタイム家電VAN)

(1)背景

家電業界では1988年にE-VANを構築し、流通企業とメーカーとの間で本格的なEDIを開始しました。大手量販店を中心に高密度な運用がなされています。また、統一伝票(E様式)は、流通企業の取り扱い品目が家電以外に広がってきており、業種・業界を超えて浸透しています。

このような中で、市場環境の変化や消費者ニーズの多様化にともなう購買パターンの変化、流通企業の多様化などで、既存のEDIシステムだけでは取引のニーズに合わないことが多くなってきました。

具体的には、店頭からリアルタイムにメーカー在庫の検索や、注文を行い、結果がすぐわかるEDIシステムが要望されていました。

(2)経過

メーカー側にとっても受注後の欠品情報や納期回答データをバッチ返送するのは工数がかかる作業でなかなか実現できずにいました。

1989年から、いかにすればこのような要望に応えられるかの検討を開始しましたが、多数の異機種コンピュータ間によるリアルタイム接続を可能にしなければならず、また利用者のオペレーションを考えると、運用時間やメッセージなど詳細な仕様の統一も必要であり、実現に向けては大変な苦勞を伴うことになりました。

開発に先立ち、以下のような前提条件に基づき、家電メーカー共同で「R-VAN(リアルタイム家電VAN)」のガイドラインを、一般財団法人家電製品協会のもとで1990年7月に取り纏めました。

リアルタイムEDIの機能

- [1] 発注・在庫照会がリアルタイム(会話形式)に出来る。
- [2] 納品可能日・配達便などを回答する。
- [3] 早朝から夜間まで発注処理が可能となる。
- [4] メーカーが休日でも発注・照会が可能となる。
- [5] 14日先迄の納品日指定を基本とする。

その他

- [1] 流通企業の店頭での利用を基本とする。
- [2] 在庫を公開しないモデルが発生することもある。
- [3] VAN料金については、発注はメーカー負担、照会は流通企業の負担とする。
- [4] システム面や費用負担の関係で加入できないメーカーが想定されるため、メーカーの加入は任意とする。

こうして、1991年に運用を開始しましたが、当初は各社の方針の違いにより、2つのVAN会社((株)NTTデータ・日本IBM(株))に接続する形でスタートしました。1995年日本電気大型店協会(NEBA)より、相互乗入れ実現に向けての強い要請を受け、技術・運用面での課題解決に向けて検討を開始し、1996年8月に両VANにゲートウェイを介して相互接続することにより、加入全メーカーに接続できる環境が実現しました。

その後、運用時間の延長、繁忙期の運用休止日削減等のサービス性向上により、利用率向上に大きく貢献しています。

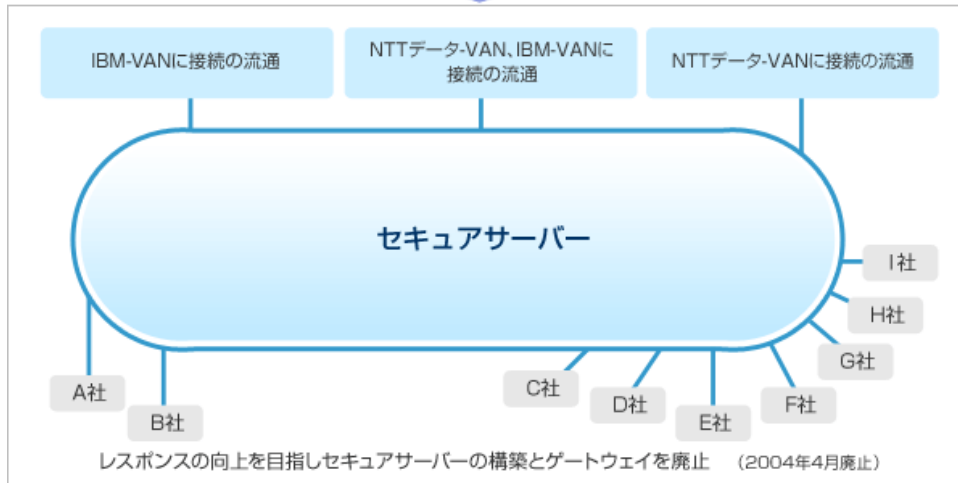
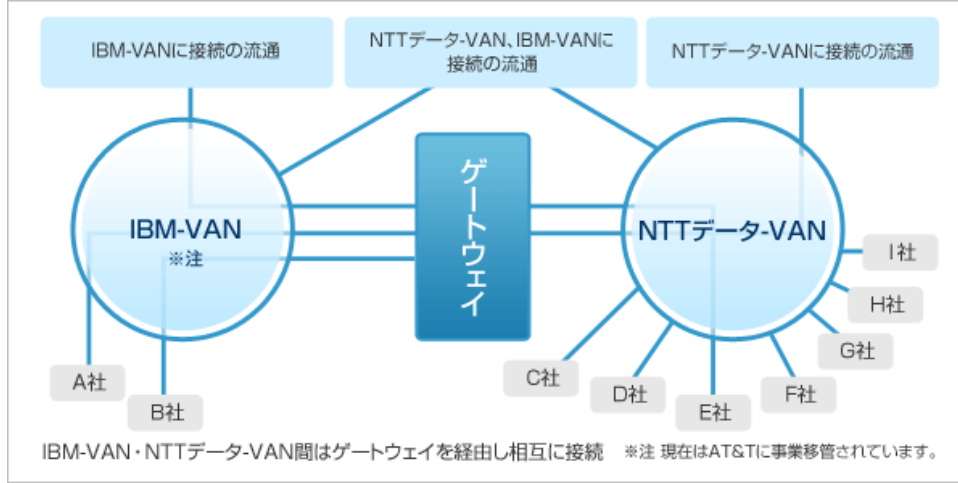
<利用状況>

利用企業数 流通企業5社・メーカー6社 (2022年9月時点)
利用件数 照会191万件、発注38万件 (2021年 年間実績)

また、更なるレスポンスの向上を目指し、2004年4月にセキュアサーバーを構築し、ゲートウェイを廃止しました。

(3)概要

- [1] 概念図



[2]機能

a. 発注型在庫照会

発注したいモデルを入力し、メーカー在庫を確認後に発注する。在庫がない場合、納品可能日が回答される。

b. 発注

会話形式で発注でき、結果がリアルタイムに確認できる。

c. 在庫照会

在庫の照会のみ。在庫がない場合、納品可能日の回答が返るのは、a.に同じ。

d. 最終データ確認照会

回線障害等で入力した発注がどこまで処理されているか確認できるよう、メーカー側が流通企業毎に最終処理したデータを保持しており、万一のとき、それが参照できる。

[3]未商談品(定番外)の扱い

基本的には商談済み商品のみ受付ける。受注の可能性がある商品についてはあらかじめ商談を済ませておくこと。

[4]運用日・時間

a. 運用日

休止日	メーカー個別で加入流通企業に案内する。
-----	---------------------

b. 運用時間

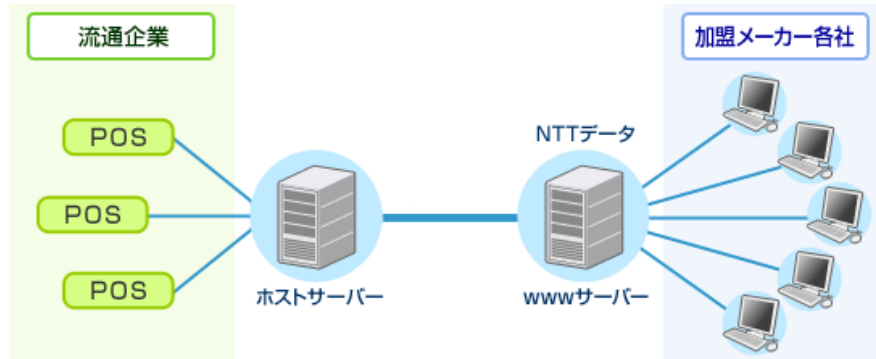
開始時間	終了時間
8:00	21:00

[5]費用負担

	費用項目	流通企業	メーカー
初期	流通企業側開発費用	○	

ランニング	流通企業側情報処理費・機器費用	○	
	VAN回線料(流通企業→VAN会社)	○	
	VAN回線料(VAN会社→メーカー)		○
	メーカー側情報処理費・機器費用		○
	VAN処理料(在庫照会)	○	
	VAN処理料(発注)		○

[6] 接続形態



2002年6月より、インターネット上の指定サイトに接続し、R-VANとほぼ同等の機能が実現できる「R-Web(家電Web受発注システム)」を構築し運用を開始しました。

今後は、これまでR-VANを導入していなかった地域量販店などで、R-Webの推進を図っていくとともに、ホストコンピューターから発注を行う流通企業については、従来通りR-VANを、更に手軽に、かつ安価に利用出来る環境を整備し、より多くの流通企業・メーカーの参加を促進して行きたいと考えています。

標準化内容につきましては、『[第3章 R-VAN標準化内容](#)』を参照ください。

尚、詳細につきましては、TC-NET協議会事務局までお問い合わせください。

■ R-VANシステムのお問い合わせ先

TC-NET協議会事務局
〒530-0003
所在地:大阪府大阪市北区堂島3-1-21 NTTDATA堂島ビル16F
(株)NTTデータ 内
TEL:050-3521-8434 FAX:06-6455-3346
E-mail: tcnet@green.ocn.ne.jp

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

3. 各種EDI背景、経過、概要

3-3. R-Web(家電Web受発注システム)

(1)背景

1991年にR-VANの運用を開始して以来、メーカーとしても受注業務の効率化を適正な運用コストで実現すると共に、一方では流通企業に対するサービス性の質的向上を図るという、両立が困難な課題への対応が求められています。

また、ホストコンピューターからの発注を行わない流通企業では、電話による在庫確認の煩わしさやFAX発注の通信費など、販売事務・コストの軽減を迫られておりました。そのため近年では、各メーカーが独自に開発した会話型のリアルタイム受発注システムを展開する状況となり、店頭で利用する際には各メーカーに対してシステムを使い分ける必要が生じていました。

こうしたなかで、より多くのメーカーへの発注を1つのシステムで行う事が可能で、かつ簡単・低コストで多くの流通企業が導入できる方式が求められていました。

(2)経過

このニーズに応えるため、R-VANでとりまとめたガイドラインをもとに新しいシステムの検討を2001年12月に開始し、次の点を具体的な課題として検討を行いました。

- [1] 高度なセキュリティの確保と低コスト化を両立させる。
- [2] ホストコンピューターを経由しない仕組みで、専用通信回線・ソフトが不要なオープンシステムとする。
- [3] R-VANと同等の機能を確保する。

こうした課題を満たすシステムをR-VAN加盟メーカーの企画のもと、(株)NTTデータと共同で設計・開発を行い、2002年6月21日より順次加盟メーカーによる共同運用を開始しました。

2022年9月現在、家電メーカー6社に対して利用が可能です。

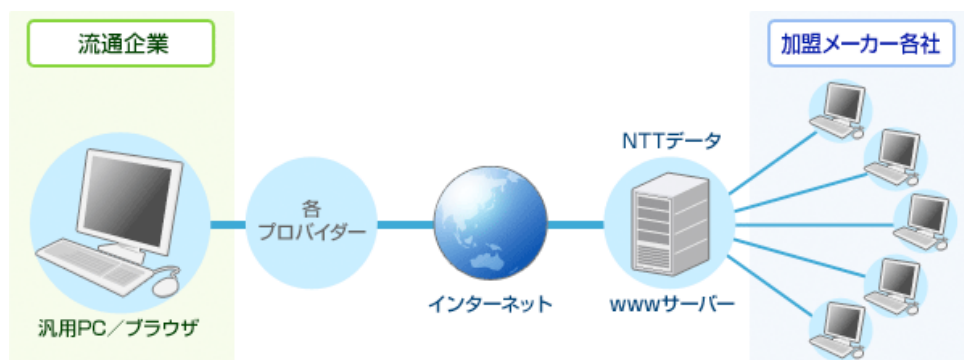
(3)概要

[1]利用環境

ネットワークは既存のインターネット接続環境とし、Webブラウザからアクセスするだけで、契約のある各メーカーに会話型のリアルタイム接続が可能なインターネットEDIです。

インターネットの利用にあたっては、流通システム開発センターが発行する共通取引先コードを取得する事で、ユニーク性を確保しています。またセキュリティ面では、最新の技術動向に沿ったセキュリティ対策を実施しています。これによりデータの盗聴・改ざん・なりすましの防止を実現しています。

[2]システム概要図



[3]R-VANとの比較

項目	R-VAN	R-Web
通信環境	クローズドネットワーク	インターネット接続

流通企業側システム対応	必須	不要
明細数	● 発注(在庫照会):3明細 ● 回答明細数:最大9明細	● 発注(在庫照会):最大6明細*1 ● 回答明細数:最大18明細*1
商品名表示	未対応	対応する商品名をメーカーにてセット
発注履歴照会機能	未対応	発注回答情報を記録し、過去13ヶ月の履歴を表示*2
画面の環境設定	固定	ユーザー毎に設定可能*3

- *1 明細数 : 各メーカーで最大数は異なる
- *2 発注履歴照会 : R-Webで発注したものについて、いつ、何を何台、発注したかを画面上で確認可能
- *3 入力補助機能 : 発注済み分や手動で登録した型式の検索機能(700件迄)
納品場所・発注者の登録と表示の並べ替え機能(各100件迄)
メーカーの表示順並べ替え機能
発注Noの表示切換え機能(伝票/明細単位)
発注希望リスト機能
定番品リスト機能など、画面設定が個別に可能なため、簡単入力を実現
尚、運用日・時間については、R-VANに準拠

[4] 費用負担

	費用項目	流通企業	メーカー
初期	共通取引先コード取得料	○	
	R-Web登録料	○	
ランニング	流通企業側パソコン費用	○	
	メーカー側機器費用		○
	通信回線料(流通企業→WWWサーバー)	○	
	通信回線料(WWWサーバー→メーカー)		○
	メーカー側情報処理費用		○
	R-Web利用料	○	○

[5] サポートセンターの設置

フリーダイヤルによるお問い合わせ窓口を設置しましたので、R-Webの使い方や障害時の対応でシステム担当者に負担がかりません。

[6] 目的と効果

- 店頭での在庫・納期回答がリアルに照会できるため、接客時のCS向上に加え、活用方法を工夫頂ければ、在庫圧縮の一助となる。
- 利用料金は、アクセス・利用回数に関わらず低価格の月額固定制となっており、コストを意識する事なく契約メーカーに対してご利用が可能のため、FAXなど通信費用の圧縮が可能となる。
- 各メーカーへの受発注インターフェースが共通となるため、各メーカーに専用端末を設置する必要がなくなり、システムを共有化する事で業界全体のコストダウンが可能になる。

R-Webは、インターネット環境をベースに開発した結果、オンライン受発注として手軽に利用できるシステムを実現しました。そのため、E-VANを実施されている流通企業にも、併用をお勧めできるものと考えております。

R-VAN・R-Webそれぞれに特徴がありますので、事情に合わせて採用システムを選択して頂く事で、商品手配・発注業務の効率化とサービスの向上とともに、様々な形態の利用に対応しより幅広いサービス提供の実現が可能になります。

尚、詳細につきましては、TC-NET協議会事務局までお問い合わせください。

■ R-Webシステムのお問い合わせ先

TC-NET協議会事務局
〒530-0003
所在地:大阪府大阪市北区堂島3-1-21 NTTDATA堂島ビル16F
(株)NTTデータ 内
TEL:050-3521-8434 FAX:06-6455-3346
E-mail: tcnet@green.ocn.ne.jp

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

3. 各種EDI背景、経過、概要

3-4. 納期目安情報連携サービス

(1)背景

メーカーから流通企業へ送付されている納期表のフォーマットが統一されておらず、流通企業は各メーカーから受領した納期表の収集・自社システムへ取り込む必要がありました。

加えてメーカーは店舗へ紙ベースでの納期表の配布を行っておりました。

(2)経過

こうした課題を解決するために、主に以下の点を考慮し新しいシステムの検討を2013年より開始しました。

- [1] 低コストで簡単に流通企業、メーカーが利用できる。
- [2] 連携先流通企業に依存しない統一フォーマット、かつ、流通企業の個別要件に応えられるフォーマット。

こうして、R-VAN加盟メーカーの企画のもと、(株)NTTデータと共同で設計・開発を行い、2016年より順次加盟メーカーによる共同運用を開始しました。

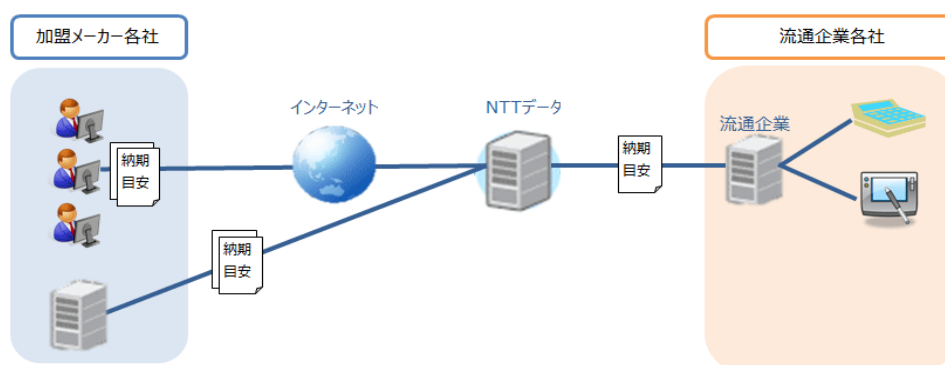
(3)概要

メーカー各社の「納期目安情報※1」を集約し、日次または週次で流通企業向けファイルフォーマットへ変換し、流通企業ホストへのファイル連携やWeb画面からのファイルダウンロードを可能とします。

ネットワークは既存のインターネット接続環境とし、Webブラウザからアクセスするだけで、納期目安情報の連携が可能です。また、ホストコンピューター間の接続も可能で、その場合は自動で納期目安情報の連携が可能となります。

※1 指定納品先に届くまでの日数の目安

[1]概要図



[2]費用負担

	費用項目	流通企業	メーカー
初期	共通取引先コード取得料	○	

ランニング	流通企業側情報処理費・機器費用	○		
	VAN回線料(流通企業→VAN会社)	△		※2
	VAN回線料(VAN会社→メーカー)		△	※2
	通信回線料(流通企業→WWWサーバー)	△		※3
	通信回線料(WWWサーバー→メーカー)		△	※3
	メーカー側情報処理費用・機器費用		○	
	納期目安情報連携サービス利用料	○	○	

※2 ホストサーバー間の接続を行う場合のみ費用発生

※3 インターネット経由の接続の場合のみ費用発生

[3]サービス導入効果の狙い

流通企業

- ・店頭で納期目安情報を確認できるようになるため、問合せ工数削減による接客効率の向上が可能となる。
- ・納期目安情報がわかる商品が増えることによる販売機会ロスの削減に繋がる。
- ・全加盟メーカーの納期目安情報が統一されたフォーマットで連携するため、自社システムへの取込が容易となる。

メーカー

- ・流通企業からの納期目安に関する問合せ数削減による対応工数削減が可能となる。
- ・店頭へ紙の納期目安情報配布を廃止することで工数削減や環境保護(ペーパーレス)が可能となる。
- ・業界標準フォーマットを利用しているため流通企業ごとにフォーマットを修正する必要が無く作業の効率化が可能となる。
- ・流通企業によらず統一的なオペレーションで納期目安情報を流通企業へ連携することが可能となる。

納期目安情報連携サービスを導入したことで、メーカーの総受電件数の減少効果が得られています。

インターネット環境で利用可能なため容易に利用することができ、メーカー側は現行の運用オペレーションを大きく変えることなく利用することが可能です。

今後は、流通企業・メーカーの更なるサービス導入効果拡大の検討を行い、より多くの流通企業・メーカーの利用を促進していきたいと考えています。

標準化内容につきましては、『[第4章 納期目安情報連携サービス標準化内容](#)』を参照ください。

尚、詳細につきましては、TC-NET協議会事務局までお問い合わせください。

■ 納期目安情報連携サービスのお問い合わせ先

TC-NET協議会事務局
〒530-0003
所在地:大阪府大阪市北区堂島3-1-21 NTTDATA堂島ビル16F
(株)NTTデータ 内
TEL:050-3521-8434 FAX:06-6455-3346
E-mail:tcnet@green.ocn.ne.jp

第1章 家電業界における流通情報化への取り組み

3. 各種EDI背景、経過、概要

3-5. 新・商品情報伝達システム(JD-NET)

(1)背景

流通企業への商品情報伝達は、1986年に家電製品の統一商品コード(JANコード)の流通企業への伝達を目的に「商品コード伝達システム」としてスタートしました。その後、流通企業からのよりきめ細かい商品管理の要求が高まり、情報の漢字対応や画像データなどの情報(項目)を追加、および伝達方法の改善を行いました。現在では、家電業界における各種商品情報をデジタルデータベース化することにより、主として流通企業における商品管理と販促活動の効率的運用に資することを目的に「新・商品情報伝達システム(JD-NET)」が運用されています。

(2)経過

1986年4月に「商品コード伝達システム」としてスタートし、1993年4月には、情報(項目)の追加および伝達スピードの改善を行い「商品情報伝達システム」としてリニューアルされました。

1999年4月には画像データ追加および情報の漢字対応を行い「新・商品情報伝達システム(JD-NET)」が稼動しました。同時に、商品情報データベースの維持運営および管理を円滑に行うためにJD-NET協議会を設立しました。

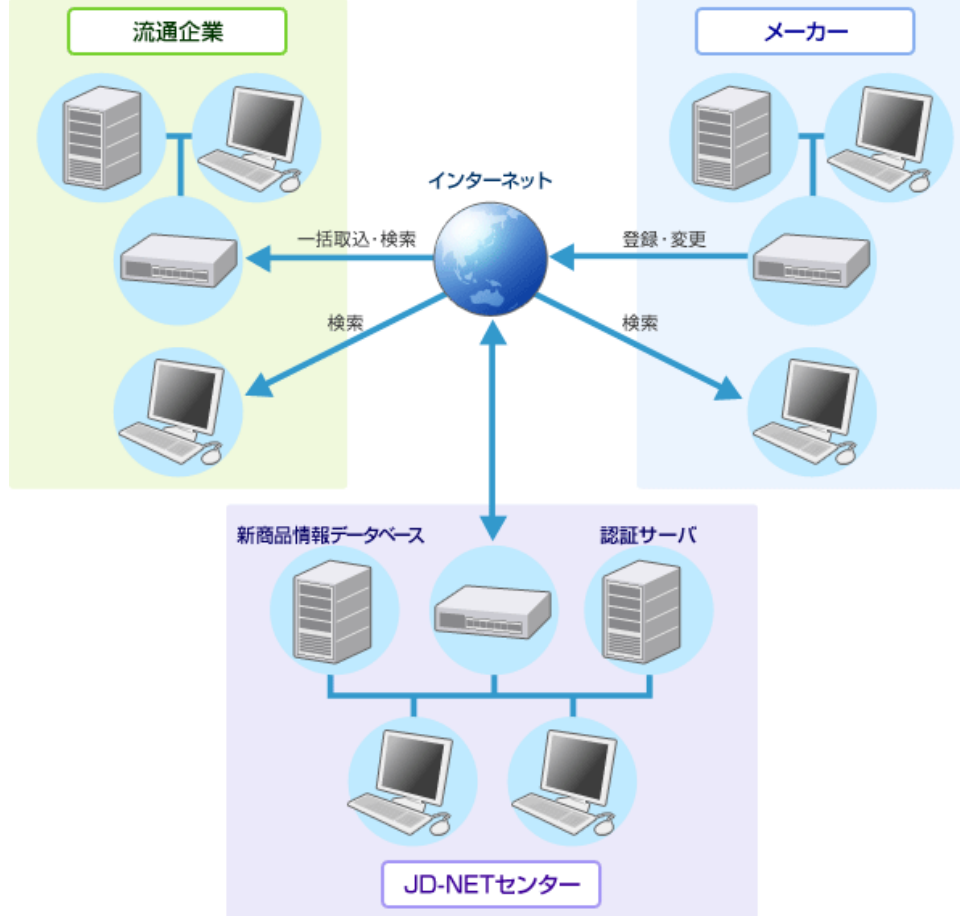
現在約58,300件(2022年8月)のデータが登録され、メーカー40社、流通22社が利用しており、またこのデータベースは流通システム開発センターのJICFS(JAN Item Code File Server)へも提供しています。2004年4月の消費税法第63条の2(価格に表示)改正に伴う対応として、従来の希望小売価格(税抜)表示に加え、希望小売価格(税込)を追加し、2008年にはシステムを刷新し専用機種を提供を開始しました。

(3)概要

JD-NET参加メーカーは自社の製品発売や希望小売価格の改定およびその他項目の変更都度、その情報をJD-NETセンターへ送信します。このシステムを利用する流通企業は各メーカーの登録(変更)情報を随時ブラウザでの検索や、定期的にファイルをダウンロードし自社の情報システムに取り込むことができます。

商品情報データベースには、JANコードなどの基本項目の他、商品本体画像、漢字化された商品キャッチコピー文、特性情報(スペック)、商品ロゴ等、POP、プライスカード作成などの流通企業内情報処理を支援する各種情報が登録されています。

【システム概要図】



[1] メーカーからのデータベースへの登録

- a. 新商品発売時
 - 従来の商品伝達システムと同様、発売の1ヶ月前を原則とする。
(新製品ニュース発行と同タイミング)
 - 登録対象商品はセールスマン用総合カタログ掲載商品を基本とする。
- b. 各項目の変更時
 - 何れかの項目に変更があった場合その都度変更情報を登録する。
- c. 商品の廃止時
 - メーカー各社の運用基準により流通在庫を勘案の上、廃止登録を行う。

[2] 流通企業・メーカーの利用

- a. 新規加入時
 - JD-NET協議会へ加入申請を行う。
 - 審査・承認後、一括取り込みを利用の場合は全メーカーの基本情報、特性情報、画像情報、データ処理用各種マスター全件の提供を行う。
- b. 通常利用時
 - 検索機能と一括取込機能の2種類のメニューを提供する。

		基本情報	特性情報	画像情報
検索機能	検索&ダウンロード	○	○	○
一括取込機能	FTPダウンロード	○	○	○

- 検索機能はブラウザを使い、基本情報・特性情報・画像情報の単純検索・ダウンロードが可能。

[3] 運用

- a. 利用可能時間 検索機能: 9時～21時 一括取り込み: 7時～21時
- b. 運用停止 システムメンテナンス日(緊急の場合を除き事前連絡)
但し、メーカーからの登録は年末年始も停止(事前連絡)
- c. ファイル管理 一括取込機能用ファイルは最大2週間分の新規データ・変更データを保持しており、2週間を過ぎたファイルは自動的に削除

内容は『第5章 JD-NETシステム』を参照ください。

尚、JD-NETシステムの詳細はJD-NET協議会事務局までお問い合わせください。

■ JD-NETシステムのお問い合わせ先

JD-NET協議会事務局

〒164-0012

住所: 東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンブライトツイン15F

TEL: 03-5333-3193

E-mail: jd-net.jp@gfk.com

URL: <https://www.home-electronics-jd-net.ne.jp/jd-net/>

第2章 E-VAN標準化内容

1. [標準化共通項目](#) >
2. [受発注データ](#) >
3. [納期回答データ](#) >
4. [納品データ](#) >
5. [欠品データ](#) >
6. [納品結果データ](#) >
7. [請求・支払データ](#) >
8. [実売データ](#) >
9. [在庫データ](#) >
10. [移動データ](#) >

第2章 E-VAN標準化内容

1.標準化共通項目

(1)データ一覧

■E-VAN(家電VAN)

【有無】○…あり、×…なし

No	データ内容	サイクル	作成元		ファイルヘッダー		伝票ヘッダー		明細レコード		合計レコード		レコード長	
			流通	メーカー	有無	データ種別	有無	データ区分	有無	データ区分	有無	データ区分	128	256
1	受発注	日	○		○	01	○	01	○	01	×	—	○	×
2	納期回答	日		○	○	02	×	—	○	04	×	—	○	○
3	納品	日		○	○	02	×	—	○	02	×	—	○	○
4	欠品	日		○	○	02	×	—	○	03	×	—	○	○
5	納品結果	日	○		○	12	×	—	○	12	×	—	×	○
6	請求	月		○	×	—	○	05	○	05	○	05	○	○
	06							06		06				
7	支払	月	○		×	—	○	07	○	07	○	07	○	○
	08							08		08				
8	実売	日	○		○	11	×	—	○	11	×	—	×	○
9	在庫	日・週月	○		○	10	×	—	○	10	×	—	×	○
10	移動	日	○		○	13	×	—	○	13	×	—	×	○

■拡張E-VAN(拡張家電VAN)

【有無】○…あり、×…なし

No	データ内容	サイクル	作成元		ファイルヘッダー		伝票ヘッダー		明細レコード		合計レコード		レコード長
			流通	メーカー	有無	データ種別	有無	データ区分	有無	データ区分	有無	データ区分	
1	受発注	日	○		○	01	○	01 02 03	○	01	×	—	384
2	納品	日		○	○	02	×	—	○	02	×	—	570
3	納品結果	日	○		○	12	×	—	○	12	×	—	364
4	請求	月		○	○	05	×	—	○	05	○	05	577
5	支払	月	○		○	07	×	—	○	07	○	07	577

(2)諸コード体系

[1] 商品コード

商品コードは「家電製品の統一商品コード(JANコード)」を使用します。2015年4月から流通BMSに準拠した拡張EVANにおいて「集合梱装用の商品コードITFコード(GTIN14桁と同等)」を追加しています。

[2] 取引先コード

ファイルヘッダー、伝票ヘッダー等で使用する取引先コードは流通システム開発センターに登録された「共通取引先コード」を使用

します。

[3] 伝票区分

各種データにおける伝票区分は以下の通りです。

		受発注	納期回答	納品	欠品	納品結果	請求・支払
コード	内容	伝票 ヘッダー	明細 レコード	明細 レコード	明細 レコード	明細 レコード	全て
01	通常発注または通常出荷	○(受注)	○(出荷)	○(出荷)	○(出荷)		○(出荷)
02	預け品出荷	○	○	○	○		
03	預け品計上			○			○
04	返品			○			○
06	その他請求						○
07	その他控除						○
08	割戻し(値引)						○
09	逆割戻し(値増)						○
11	通常入荷					○	
12	預け品入荷					○	
13	預け品計上					○	
99	受注欄にて"01"か"02"を判断	○					

(3)統一フォーマット化の考慮点

[1] データ項目の必要性の明確化

各データ項目に対して、○…必須、△…任意、×…不要の区分を設定し、運用のガイドラインを明示しました。

[2] 自由使用欄の設定(2社間でのみ有効)

流通企業とメーカーの2社間で双方合意すれば使える自由使用欄を設定しました。

第2章 E-VAN標準化内容

2. 受発注データ

(1) 概要

受発注データは流通企業からメーカーに対して、商品注文の情報をデータで日々提供するものです。

(2) 受発注フォーマット運用上の注意点

[1] 発注No

発注Noは伝票ヘッダーと明細レコードにあります。発注方法が伝票単位か明細単位かによっていずれか一方を必ず使用することになります。

[2] 出荷年月日

出荷年月日はメーカー側セット項目となっており、注文時に指定することは原則できません。

(3) 受発注データフォーマットの説明

[1] ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容
1	レコード区分	X	1	1	○	"A"
2	データ種別	9	2	2	○	"01"
3	データ	9	4	6	○	処理日付(西暦:yymmdd)
4	処理					
5	データ日付年月日	9	16	6	○	発注日(西暦:yymmdd)
6	データ	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	送信側					
8	最終送信先	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	予備					
10	直接送信先	9	38	6	△	・中継センターがある時のみ中継センターの共通取引先コード
11	予備	9	44	2	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの際はALLゼロ
12	レコードサイズ	9	46	3	○	"128"
13	レコード件数	9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数
14	帳票枚数	9	55	5	△	1ファイル内の打出伝票ヘッダー件数
15	余白	X	60	69	×	使用不可(スペース)

128Byte

[2] 伝票ヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	発注データ(流通側セット)		伝票表示	
					必須・任意	内容	発注データ	メーカー

1	レコード区分	X	1	1	○	"B"	-	-		
2	データ区分	9	2	2	○	"01"	-	-		
3	伝票区分	9	4	2	○	"01"通常発注 "02"預り出荷 "99"受注側にて "01"か "02"を判断	-	-		
4	発注企業	法人コード	9	6	6	○	発注企業の共通取引先コード	-	-	
5		店コード	X	12	6	△	発注企業の店コード (6桁以内左詰)	○		発注店コード(左詰)
6	発注年月日	9	18	6	○	発注日(西暦: yyymmdd)				
7	発注No	X	24	8	△	発注No(8桁以内左詰) (伝票単位の発注制度の時)	○			発注No欄(ヘッダー部分)
8	伝票番号	9	32	7	×		○			伝票番号3桁空けて XXXXXX (6桁+CD)と印字(CDは JANコード算出方法と同じ)
9	納品場所	名称	X	39	19	○	納品場所名(左詰)	○		納品場所名(左詰)
10		コード	X	58	6	○	納品場所コード (6桁以内左詰)	○		納品場所コード(左詰)
11	出荷年月日	9	64	6	△			○		出荷年月日(西暦)
12	受注企業	企業コード	9	70	6	○	受注企業の共通取引先コード	○		1桁空白後印字
13		予備	9	76	2	○	ステーションアドレス (双方取り決め)	-	-	
14	請求月	9	78	2	×			○		請求月(左詰)
15	発注者	X	80	9	△	氏名またはコード (左詰)	○			発注者(左詰)
16	備考	X	89	25	○	双方取り決め事項 (左詰)	○			備考欄1段目(左詰)
17	最終納品店コード	X	114	6	△	最終納品先の店コード	○			双方取り決め事項
18	余白	X	120	9	×	使用不可(スペース)	-	-		

128Byte

[3]明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数 (バイト)	発注データ (流通側セット)		伝票表示			
					必須・任意	内容	発注データ	メーカー	プリント位置	
1	レコード区分	X	1	1	○	"D"	-	-		
2	データ区分	9	2	2	○	"01"	-	-		
3	発注明細番号	X	4	2	△	伝票単位発注Noの行 No ("01"~"06")	-	-		
4	発注No	X	6	8	△	発注No(8桁以内左詰) (明細単位の発注制度)	○			発注No欄(明細行)

					の時)			
5	商品コード	X	14	13	○	標準コード(13桁) 短縮コード(8桁) インスタコード(任意) (左詰)	○	商品コード(左詰)
6	商品名	X	27	20	△	商品名	○	商品名/型番上段(左詰)
7	型番	X	47	20	○	メーカー使用型番	○	商品名/型番下段(左詰)
8	色、サイクル、ガス種	X	67	5	△	色、サイクル、ガス種等 双方で取り決め		
9	数量	9	72	5	○	発注数量(レフトゼロ)	○	数量:ZZZZ9
10	納品単価	9	77	9	△	銭単位までセット(レフト ゼロ、メーカーでもチェ ック)	○	単価(銭単 位)ZZZZZZ9V99 (但し、円以下“00”の 時は円までを表示)
11	売単価	9	86	8	△	売単価(レフトゼロ)	○	摘要(売単 価)ZZZZZZZZ
12	摘要	X	94	9	△	双方取り決め事項(左 詰)	○	摘要
13	商品コード識 別区分	X	103	1	○	“T”JAN 標準 *1 “F”JAN 短縮 “I”インスタコード	-	-
14	余白	X	104	20	×	使用不可(スペース)	-	-
15	自由使用欄	X	124	5	△	双方取り決め事項(左 詰)	-	-

128Byte

*1 商品コードの内容について

得意先の状況	商品コード欄	区分	概要欄
JAN コードの使用	JAN コード	T/F	自由使用
JAN コード、インスタコード使用	JAN コード	T/F	インスタコード
移行期間中インスタコードのみ	インスタコード	I	自由使用

(4)拡張E-VAN

受発注データフォーマットの説明

※網かけ表示は、E-VANからの変更点(水色:変更・黄色:項目追加・紫色:流通側要望で追加)

■ファイルヘッダー

No	項目	桁 数	タイプ	必須 ・ 任意	項目設定値	BMSメッセージ 項目番号	整理 番号
1	レコード区分	1	C	○	固定値“A”		
2	データ種別	2	C	○	固定値“01”	固定値“01”	
3	システム区分	3	C	○	送信システムの識別区分		
4	データ処理年月日	8	N	○	データ処理日付(yyyymmdd)	8(日付)	
5	データ処理時刻	6	N	○	データ処理時刻(hhmmss)	8(時間)	
6	データ日付年月日	8	N	○	トランスレーション日付	トランスレーション日 付	
7	データ送信側センターコード	6	C	○	送信元センターコード	12	
8	データ送信側センターコード予 備	2	C	○	“00”	12	
9	最終送信先センターコード	6	C	○	最終送信先センターコード	13	
10	最終送信先センターコード予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	13	

11	直接送信先センターコード	6	C	△	直接送信先センターコード	14	
12	直接送信先センターコード予備	2	C	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの時はALLゼロ	14	
13	レコードサイズ	3	N	○	レコード長	明細にあわせる	
14	レコード件数	6	N	○	データ件数		
15	帳票枚数	5	N	△	帳票の枚数	15	16
16	テスト区分ID	1	C	△	テストデータ時は、'1' 本番時は、ブランク	9	9
17	余白	317	C	×	使用不可(スペース)		
		384					

■ヘッダー1

No	データ項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	BMS メッセージ 項目番号	整理 番号	流通企業側 セット	メーカー側 セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値"B"	固定値"B"		○	—
2	データ区分	2	C	○	固定値"01"	固定値"01"		○	—
3	伝票区分	2	C	○	01通常発注、02預かり出荷、99 受注側にて01・02を判断	184	92	○	—
4	発注企業 法人コード	6	C	○	発注企業の共通取引先コード	23	21	○	—
5	発注企業 店コード	8	C	○	発注店舗コード	35	40	○	—
6	発注年月日	8	N	○	発注日(yyyymmdd)	101	76	○	—
7	発注No	14	C	△	伝票単位の発注制度の時必須	122	27	○	—
8	伝票番号	10	N	△	発注法人より指定がある場合に 使用(BMS等)	121	26	○	—
9	納品場所 名称カナ	20	C	○	納品場所のカナ名称	30	33	○	—
10	納品場所 コード	8	C	○	納品先の店舗コード	27	30	○	—
11	出荷年月日	8	N	△	発注者で納品日指定がある場 合に使用	102	77	○	—
12	受注企業 企業コード	6	C	○	受注企業コード	51	48	○	—
13	受注企業 予備	2	C	○	ステーションアドレス	—	—	○	—
14	請求月	2	N	×	請求月(MM)	—	—	×	×
15	発注者	9	C	△	氏名またはコード	—	—	○	—
16	備考	25	C	△	備考がある場合に使用	—	—	○	—
17	最終納品店コード	8	C	△	最終納品店の店舗コード	31	35	○	—
18	お届け先住所1	40	K	△	卸の場合の2次の住所1 (漢字20文字)	—	—	○	—
19	お届け先住所2	40	K	△	卸の場合の2次の住所2 (漢字20文字)	—	—	○	—
20	お届け先電話番号	15	C	△	卸の場合の2次の電話番号	—	—	○	—
21	お得意先コード	8	C	△	卸の場合の2次売上先	—	—	○	—
22	お届け先コード	13	C	△	卸の場合の2次お届け先	—	—	○	—
23	お届け先名	40	K	△	卸の場合の2次お届け先名称 (漢字20文字)	—	—	○	—

24	お届け先郵便番号	7	C	△	卸の場合の2次お届け先郵便番号	—	—	○	—
25	余白	82	C	×	使用不可(スペース)	—	—		
		384							

■ヘッダー2

No	データ項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	BMSメッセージ項目番号	整理番号	流通企業側セット	メーカー側セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値" B "	固定値" B "		○	—
2	データ区分	2	C	○	固定値" 02 "	固定値" 02 "		○	—
3	コメント(1)	30	C	△	コメントがある場合に使用(1)カナ	—	—	○	—
4	コメント(2)	30	C	△	コメントがある場合に使用(2)カナ	—	—	○	—
5	コメント(3)	30	C	△	コメントがある場合に使用(3)カナ	—	—	○	—
6	チラシ開始日	8	N	△	チラシ広告掲載日	107	80	○	—
7	フロアコード	2	C	△	売り場のフロアコード	—	—	○	—
8	一括納入区分	2	C	△	一括指定の場合に使用(区分を要検討)	—	—	○	—
9	館番号	2	C	△	取引先の業態コード	—	—	○	—
10	企業コード	3	C	△	HD会社内の企業コード	—	—	○	—
11	社名	40	C	△	流通企業名カナ	26	24	○	—
12	取引先名称カナ	40	C	△	メーカー名称カナ	58	56	○	—
13	取引先名称漢字	40	C	△	メーカー名称漢字	—	—	○	—
14	税区分	2	C	△	01課税、02非課税、03免税、04不課税	201	94	○	—
15	税率	3	N	△	税率	202	95	○	—
16	税額合計金額	12	N	△	税額合計金額	138	—	○	—
17	分類	4	C	△	カテゴリ分類コード	—	—	○	—
18	店名	40	C	△	流通企業の発注店名カナ	34	38	○	—
19	納品開始日	8	N	△	納品開始の指定がある場合に使用	—	—	○	—
20	納品指定日	8	N	△	納品指定日	103	78	○	—
21	納品終了日	8	N	△	納品期限	—	—	○	—
22	発注区分	2	C	△	客注、在庫、プライダル、不良交換等の区分	172	84	○	—
23	発注元コード	8	C	△	卸への発注元コード	—	—	○	—
24	余白	59	C	×	使用不可(スペース)	—	—		
		384							

■ヘッダー3

No	データ項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	BMSメッセージ項目番号	整理番号	流通企業側セット	メーカー側セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値" B "	固定値" B "		○	
2	データ区分	2	C	○	固定値" 03 "	固定値" 03 "		○	
3	バーコード情報	13	C	△	SCMラベル情報	66	67	○	
4	カテゴリ名称1(印字用)	10	C	△	SCMラベル情報	67	68	○	

5	カテゴリ名称2 (印字用)	10	C	△	SCMラベル情報	68	69	○	
6	最終納品先略称 (印字用)	10	N	△	SCMラベル情報	69	70	○	
7	ラベル自由使用欄 (印字用)	120	K	△	SCMラベル情報(漢字60文字)	231	71	○	
8	ラベル自由使用欄 半角カナ(印字用)	60	C	△	SCMラベル情報	232	72	○	
9	商品分類(大)	10	C	△	商品分類大	87	74	○	
10	商品分類(中)	10	C	△	商品分類中	88	75	○	
11	陳列場所コード	13	C	△	SCMラベル情報	38	44	○	
12	陳列場所名称	40	K	△	SCMラベル情報(漢字20文字)	39	45	○	
13	余白	85	C	×	使用不可(スペース)	—	—		
		384							

■明細

No	データ項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	BMS メッセージ 項目番号	整理 番号	流通企業側 セット	メーカー側 セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値“D”	固定値“D”		○	—
2	データ区分	2	C	○	固定値“01”	固定 値“01”		○	—
3	発注明細番号	2	C	○	行No	123	106	○	—
4	発注No	14	C	△	明細単位の発注制度の時に必須	—	—	○	—
5	商品コード	13	C	○	標準JAN・短縮JAN・インスタ	73	116	○	—
6	商品名カナ	20	C	△	テレビ・レイゾウコ・・・	78	120	○	—
7	型番	20	C	○	メーカー使用型番	74	117	○	—
8	色、サイクル、ガス	5	C	△	双方取り決めにて使用	—	—	○	—
9	数量	7	N	○	発注数量	151	161	○	—
10	納品単価	10	N	△	商品の単価	131	153	○	—
11	売単価	10	N	△	商品の売価	134	156	○	—
12	摘要	9	C	△	双方取り決めにて使用	—	—	○	—
13	商品コード識別区 分	3	C	○	T(JAN標準)、F(JAN短縮)、I(イ ンスタ	75	118	○	—
14	自由使用欄	5	C	△	双方取り決めにて使用	—	—	○	—
15	FAX済み区分	2	C	△	先にFAXで先行して発注した場 合に使用	—	—	○	—
16	SKUコード	13	C	△	自社独自管理コード	—	—	○	—
17	コメント	30	C	△	双方取り決めにて使用	—	—	○	—
18	外注No・客注No	8	C	△	流通企業内の客注番号がある場 合に使用	—	—	○	—
19	規格	25	C	△	規格カナ	80	123	○	—
20	原価金額	12	N	△	原価の合計金額	132	154	○	—
21	商品名(漢字)	30	C	△	テレビ・冷蔵庫など漢字品名	77	119	○	—
22	商品名／特徴(商 品説明)	50	K	△	部品発注時の名称等(漢字25文 字)	—	—	○	—
23	単価単位区分	2	C	△	スペース(バラ)B(ボール)K(ケー ス)P(パレット)	313	168	○	—

24	売価金額	12	N	△	売価の合計金額	135	157	○	—
25	発注単位	2	C	△	P(ピース)C(ケース)	154	164	○	—
26	発注単位数	5	N	△	入数毎の発注数	153	163	○	—
27	発注単位入数	5	N	△	最少発注梱包単位	152	162	○	—
28	商品分類(小・細)	10	C	△	発注者側の分類コード	89,90		○	—
29	POタイプ	2	C	△	納品ルート・納品形態	—		○	—
30	配達予定日	8	N	△	お客様配達予定日	109	110	○	—
31	納品期限	8	N	△	納品期限日(注番有効期限含む)	111	111	○	—
32	商品コード2	13	C	△	インスタコードとJANコードの両方使用する場合に利用	74	102	○	—
33	余白	26	C	×	使用不可(スペース)				
		384							

第2章 E-VAN標準化内容

3. 納期回答データ

(1)概要

納期回答データはE-VAN発注を受け、メーカーから流通企業に対して、納期に関する情報を一次回答データとして日々提供するものです。

(2)運用上の注意点

[1] 回答内容

E-VAN受発注に対する納期情報として、受注時点の納期予定日を通知する一次回答をベースに定義しています。従って、E-VAN以外の受注分や二次回答、分納の回答などについてはメーカー毎に対応範囲が異なりますので、実施に際してはメーカー各社にお問い合わせください。

(主なポイント)

- 分納が発生した時のデータ作成方法(分納数や納期のデータ上での表現方法)
- E-VAN以外の受注に対する納期回答方法(データによる回答、FAXによる回答など)
- 納期変更が発生した時の扱い(変更データの送信、FAXによる通知など)

[2] 納期回答区分

納期回答内容をより詳細に連絡する為に、設定するものです。

区分の詳細は補足説明の(4)-[1]を参照ください。

セット可能な区分は流通企業とメーカー双方で事前確認する必要があります。

[3] 受注残区分

欠品や在庫不足のときに、受注データを有効にするか(メーカーが注残管理)、無効にして流通企業から再発注いただくかを識別するための区分です。

納期回答区分と受注残区分の運用は、事前に流通企業とメーカー双方で確認し運用することになります。

"0":受注をキャンセルする。(再発注が必要です)

"1":注残としてメーカーが管理します。(キャンセルするときは連絡が必要です)

(3)納期回答データフォーマットの説明

[1]ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"A"	
2	データ種別	9	2	2	○	"02"	
3	データ	年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yymmdd)
4	処理	時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)
5	データ日付年月日	9	16	6	○	"000000"(ALLゼロ)	
6	データ	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	送信側	予備	9	28	2	○	"00"
8	最終	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	送信先	予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)
10	直接	センターコード	9	38	6	△	・中継センターがある時のみ中継センターの共通取引先コード
11	送信先	予備	9	44	2	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの時はALLゼロ
12	レコードサイズ	9	46	3	○	"128"または"256"	

13	レコード件数	9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数
14	帳票枚数	9	55	5	△	"00000"(ALLゼロ)
15	余白	X	60	69 or 197	×	使用不可(スペース) *レコード長が128バイトの時・・・69バイト レコード長が256バイトの時・・・197バイト

[2]明細レコード

○・・・必須、△・・・任意、×・・・不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	セットサイド		必須・任意	内容	
					発注データ	メーカー			
1	レコード区分	X	1	1	—	○	○	"E"	
2	データ区分	9	2	2	—	○	○	"04"	
3	伝票区分	9	4	2	—	○	○	"01"通常出荷 "02"預け品出荷	
4	発注企業	法人コード	9	6	○	○	○	発注企業の共通取引先コード	
5		店コード	X	12	6	○	—	○	発注企業の店コード (6桁以内左詰)
6	発注年月日	9	18	6	○	—	△	発注日(西暦:yyymmdd)	
7	発注No	X	24	8	○	—	△	発注No(8桁以内左詰)	
8	発注明細番号	X	32	2	○	—	△	発注明細番号(伝票単位の発注制度をとっていない場合はスペース)	
9	余白	X	34	8	—	—	×	使用不可(スペース)	
10	納品場所コード	X	42	6	○	—	○	納品場所コード (6桁以内左詰)	
11	余白	X	48	8	—	—	×	使用不可(スペース)	
12	受注企業	企業コード	9	56	6	○	—	○	受注企業の共通取引先コード
13		予備	9	62	2	○	—	○	ステーションアドレス (双方取り決め)
14	納品企業	企業コード	9	64	6	—	○	○	納品企業の共通取引先コード
15		予備	9	70	2	—	○	○	ステーションアドレス (双方取り決め)
16	商品コード	X	72	13	○	—	○	標準コード(13桁) 短縮コード(8桁) インスタコード(任意)(左詰)	
17	商品コード識別区分	X	85	1	○	—	○	"T"JAN標準 "F"JAN短縮 "I"インスタコード	
18	納品数量	9	86	5	—	○	○	納品予定数量(レフトゼロ) 付記事項参照	
19	余白	X	91	9	—	—	×	使用不可(スペース)	
20	発注数量	9	100	5	○	—	○	発注数量(レフトゼロ)	
21	納期日付	9	105	6	—	○	△	納期日付 付記事項参照	
22	色、サイクル、ガス種	X	111	5	○	—	△	色、サイクル、ガス種等 双方で取り決め	
23	売単価	9	116	8	—	—	×		
24	納期回答区分	X	124	2	—	○	△	納期回答区分 付記事項参照	
25	受注残区分	X	126	1	—	○	△	受注残区分 付記事項参照	
26	自由使用欄(1)	X	127	2	○	○	△	双方取り決め事項	

27	型番	X	129	20	○	—	△	メーカー使用型番(左詰)	256Byte
28	納品場所(名称)	X	149	19	○	—	△	納品場所名(左詰)	
29	摘要	X	168	9	○	—	△	摘要	
30	余白	X	177	36	—	—	×	使用不可(スペース)	
31	発注者	X	213	9	○	—	△	発注データの発注者	
32	備考	X	222	25	○	—	△	発注データの備考	
33	自由使用欄	X	247	10	○	○	△	双方取り決め事項	

- ①項番27～33の全ての項目が不要なとき、128バイトとする。
 ②項番27～33の何れかの項目が必要なとき、256バイトとする。

(4)補足説明

[1]納期回答区分の定義と関連項目の内容

○「納期回答区分」"01"～"08"の定義

一次回答内容	納期回答区分	受注残区分	納期日付	納入数量欄と発注数量の関係	在庫	定義の補足説明
確定納期連絡	01	1	確定	納品数=発注数	有	発注数量全数が納品でき、かつ納品日が確定している時
確定納期連絡(数量訂正)	02	1	確定	納品数>発注数>0	有	メーカー側で梱包単位に数量を丸めた場合(切り上げ)かつ発注数を満たしている時のみ
納期予定連絡(～頃に納入)	03	0 1	頃	0<納品数≤発注数	無	在庫は無いが納品予定がセットできる場合、初回納品可能数を納品数にセット
納入未定(後日連絡)	04	1	無	0=納品数	無	在庫は無いが納品予定日が未確定の場合で注残として残す場合
分納連絡(部分納入)	05	0 1	確定	0<納品数<発注数	一部有	在庫があるが全部納品できない
生産完了	06	0	無	0=納品数	無	在庫が無く生産予定が無い場合
別途連絡	07	0 1	無	0=納品数	無	在庫は無いがセールス等が別途連絡する場合(販売枠対象品等)
納期未定取り消し	08	0	無	0=納品数<発注数	無	在庫が無く納期も未定でいったん取り消し、再注文かどうか流通企業で判断する時

○「納期回答区分」"20"～"90"の定義

一次回答内容	納期回答区分	受注残区分	定義の補足説明
型番にエラーあり	20	0 1	"0"は型番エラーで、メーカー側が訂正フォローしなかった時 "1"は受注担当対応、従って流通企業は再発注の必要なし
色不明	21	0 1	納品区分"20"に同じ
部品扱い	22	0 1	"1"はメーカー側が部品扱いで手配をした場合。但し発注の内容(注番など)はそのままになるため、運用する場合取り決めが必要
型番、色、部品以外のエラー	23	0 1	納品区分"20"に同じ
発注データエラー	90	0	致命的エラーや各種コードの誤り(取引先コード、社店コード等)

第2章 E-VAN標準化内容

4. 納品データ

(1)概要

納品データはメーカーが流通企業に対して、商品の出荷情報をデータで日々提供するものです。流通企業の活用目的により、商品着荷前に送信する場合と、商品着荷後に送信する場合があります。

着荷前:流通企業での検品(検収)業務に活用されています。

着荷後:注残消し込みや買掛計上業務に活用されています。

(2)運用上の注意点

[1] 欠品データ要求時

欠品データを要求される場合は、欠品データと混在で提供することになります。

一つのファイルヘッダーの中に納品データと欠品データを混在で送信することになります。

(納品データ単独での運用も可能です)

[2] 送信タイミング

着荷前の運用を希望される場合は、実際の納品タイミングと、流通企業とメーカー双方の納品データ処理タイミングを踏まえて、運用スケジュールを設定する必要がありますので、事前に双方で確認の上実施することになります。

(3)納品データフォーマットの説明

[1]ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"A"	
2	データ種別		9	2	○	"02"	
3	データ	年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yymmdd)
4	処理	時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)
5	データ日付年月日		9	16	6	○	"000000"(ALLゼロ)
6	データ	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	送信側	予備	9	28	2	○	"00"
8	最終	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	送信先	予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)
10	直接	センターコード	9	38	6	△	・中継センターがある時のみ中継センターの共通取引先コード
11	送信先	予備	9	44	2	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの際はALLゼロ
12	レコードサイズ		9	46	3	○	"128"または"256"
13	レコード件数		9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数
14	帳票枚数		9	55	5	△	"00000"(ALLゼロ)
15	余白	X	60	69 or 197	×	使用不可(スペース) *レコード長が128バイトの時・・・69バイト レコード長が256バイトの時・・・197バイト	

[2]明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数 (バイト)	セットサイド		必須・任意	内容	
					発注データ	メーカー			
1	レコード区分	X	1	1	—	○	○	"E"	
2	データ区分	9	2	2	—	○	○	"02"	
3	伝票区分	9	4	2	—	○	○	"01"通常出荷 "02"預け品出荷 "03"預け品計上(03は設定不可メーカーあり) "04"返品 区分と活用目的の関係は補足説明を参照	
4	発注企業	法人コード	9	6	6	○	○	○	発注企業の共通取引先コード
5		店コード	X	12	6	○	—	○	発注企業の店コード (6桁以内左詰)
6	発注年月日		9	18	6	○	—	△	発注日(西暦:yyymmdd)
7	発注No		X	24	8	○	—	△	発注No(8桁以内左詰)
8	発注明細番号		X	32	2	○	—	△	発注明細番号(伝票単位の発注制度をとっていない場合はスペース)
9	伝票番号		9	34	7	—	○	○	6桁+CD(JANコードの算出方法と同じ)
10	伝票行No.		9	41	1	—	○	△	伝票行No.
11	納品場所コード		X	42	6	○	—	○	納品場所コード (6桁以内左詰)
12	伝票日付		9	48	6	—	○	○	伝票日付(西暦:yyymmdd)
13	請求月		9	54	2	—	○	△	請求月
14	受注企業	企業コード	9	56	6	○	—	○	受注企業の共通取引先コード
15		予備	9	62	2	○	—	○	ステーションアドレス (双方取り決め)
16	納品企業	企業コード	9	64	6	—	○	○	納品企業の共通取引先コード
17		予備	9	70	2	—	○	○	ステーションアドレス (双方取り決め)
18	商品コード		X	72	13	○	—	○	標準コード(13桁) 短縮コード(8桁) インスタコード(任意)(左詰)
19	商品コード識別区分		X	85	1	○	—	○	"T"JAN標準 "F"JAN短縮 "I"インスタコード
20	納品数量		9	86	5	—	○	○	納品数量
21	納品単価		9	91	9	—	○	○	納品伝票上の納品単価 (銭単位)9999999V99
22	発注数量		9	100	5	○	—	○	発注数量(レフトゼロ)
23	納期日付		9	105	6	—	○	×	分納時は全納するための最終納品予定日
24	色、サイクル、ガス種		X	111	5	○	—	△	色、サイクル、ガス種等 双方で取り決め
25	売単価		9	116	8	○	—	△	売単価(円単位)
26	自由使用欄(1)		X	124	5	○	○	△	双方取り決め事項
27	型番		X	129	20	○	—	△	メーカー使用型番(左詰)
28	納品場所名称		X	149	19	○	—	△	納品場所名(左詰)
29	摘要		X	168	9	○	—	△	摘要
30	課税区分		X	177	1	—	○	○	"1"課税 "2"非課税

31	内税外税区分	X	178	1	—	○	○	“1”外税 “2”内税	256Byte
32	税関係区分(1)	X	179	1	—	○	○	税関係の区分に使用	
33	税関係区分(2)	X	180	1	—	○	○	税関係の区分に使用	
34	税額	9	181	8	—	○	○	消費税額(円単位)	
35	余白	X	189	24	—	—	×	使用不可(スペース)	
36	発注者	X	213	9	○	—	△	発注データの発注者	
37	備考	X	222	25	○	—	△	発注データの備考	
38	自由使用欄	X	247	10	○	○	△	双方取り決め事項	

①項番27～38の全ての項目が不要なとき、128バイトとする。

②項番27～38の何れかの項目が必要なとき、256バイトとする。

(4)補足説明

伝票区分と活用目的の関係について

	発注残消込み	買掛計上	検品(検収)
通常出荷(01)	○	○	○
預け品出荷(02)	○	×	○
預け品計上(03)	×	○	×
返品(04)	×	○	×

(5)拡張E-VAN

納品データフォーマットの説明

■ファイルヘッダー

※網がけ表示は、E-VANからの変更点(水色:変更・黄色:項目追加・紫色:流通側要望で追加)

No	項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	流通企業側 セット	メーカー側 セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値“A”	—	○
2	データ種別	2	C	○	固定値“02”	—	○
3	データ処理年月日	8	N	○	データ処理日付(yyyymmdd)	—	○
4	データ処理時刻	6	N	○	データ処理時刻(hhmmss)	—	○
5	データ日付年月日	8	N	○	トランスレーション日付	—	○
6	データ送信側 センターコード	6	C	○	送信元センターコード	—	○
7	データ送信側 センターコード予備	2	C	○	“00”	—	○
8	最終送信先 センターコード	6	C	○	最終送信先センターコード	—	○
9	最終送信先 センターコード予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	—	○
10	直接センターコード	6	C	△	直接送信先センターコード	—	○
11	直接センターコード 予備	2	C	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの際はALLゼロ	—	○
12	レコードサイズ	3	N	○	レコード長	—	○
13	レコード件数	6	N	○	データ件数	—	○
14	帳票枚数	5	N	○	帳票の枚数	—	○
15	テスト区分ID	1	C	△	テストデータ時は、‘1’ 本番時は、ブランク	—	○
16	余白	506	C	×	使用不可(スペース)		

■明細

No	データ項目	桁数	タイプ	必須 ・ 任意	項目設定値	流通企業側 セット	メーカー側 セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値"E"	—	○
2	データ区分	2	C	○	固定値"02"	—	○
3	伝票区分	2	C	○	01通常発注、02預かり出荷、03預け品計上、04返品	—	○
4	発注企業 法人コード	6	C	○	発注企業の共通取引先コード	○	—
5	発注企業 店コード	8	C	○	発注店舗コード	○	—
6	発注年月日	8	N	○	発注年月日	○	—
7	発注No	14	C	○	発注No	○	—
8	発注明細番号	2	C	○	発注明細番号	○	—
9	伝票番号	10	N	○	伝票番号	—	○
10	伝票行No	2	C	○	行No	—	○
11	納品場所コード	8	C	○	納品先の店舗コード	○	—
12	最終納品店コード	8	C	○	最終納品店の店舗コード	○	—
13	伝票日付	8	N	○	納品日(yyyymmdd)	—	○
14	請求月	2	N	○	請求月	—	○
15	受注企業 企業コード	6	C	○	受注企業の共通取引先コード 受注・出荷・納品を行う卸／メーカー企業を表す独自コード	—	○
16	受注企業予備	2	C	○	ステーションアドレス	—	○
17	納品企業 企業コード	6	C	○	納品企業の共通取引先コード	—	○
18	納品企業予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	—	○
19	請求取引先コード	13	C	○	商品代金の請求を行う卸／メーカー企業を表す独自コード	—	○
20	商品コード	13	C	○	標準JAN・短縮JAN・インスタア	○	—
21	商品コード識別区分	3	C	○	T(JAN標準)、F(JAN短縮)、I(インスタア)	○	—
22	商品分類(大)	10	C	△	商品分類大	○	—
23	商品分類(中)	10	C	△	商品分類中	○	—
24	納品数量	7	N	○	納品数量	—	○
25	納品単価	10	N	△	納品単価	—	○
26	納品金額	12	N	△	納品金額	—	○
27	欠品数量(バラ)	7	N	△	納品不足数	—	○
28	発注数量	7	N	○	小売からの発注数	○	—
29	発注単位	4	N	△	発注最低ロット数	○	—
30	発注数量(発注単位 数)	6	N	△	発注単位の発注数	○	—
31	発注単位コード	2	C	△	発注単位の呼称(コ・Kg・Cm)	○	—
32	最終納品先納品日	8	N	△	受注の最終納品先納品日をセット	○	—
33	色、サイクル、ガス種	5	C	△	色、サイクル、ガス種	○	—
34	売単価	10	N	△	売単価	○	—

35	売価金額	10	N	△	売価金額	—	○
36	自由使用欄(1)	5	C	△	双方取り決め事項	—	○
37	コメント(1)	30	C	△	コメントがある場合に使用(1)カナ	—	○
38	コメント(2)	30	C	△	コメントがある場合に使用(2)カナ	—	○
39	型番	20	C	○	メーカー型番	—	○
40	納品場所名称カナ	19	C	△	納品場所のカナ名称	○	—
41	納品場所名称漢字	40	C	△	納品場所の漢字名称	○	—
42	摘要	9	C	△	摘要がある場合に使用	○	—
43	内税外税区分	1	C	△	1'外税、2'内税	—	○
44	税区分	2	C	△	01課税、02非課税、03免税、04不課税	—	○
45	税率	3	N	△	税率	—	○
46	税額	8	N	△	税額	—	○
47	発注者	9	C	△	氏名またはコード	○	—
48	備考	25	C	△	発注データの備考	○	—
49	出荷荷姿コード	2	C	△	00無指定・01バラ・02ポール・03ケース・04パレット・05バンドル	—	○
50	出荷荷姿(出荷荷姿数)	6	N	△	納品合計数(出荷荷姿の換算数)	—	○
51	取引先出荷日	8	N	△	メーカー出荷日	—	○
52	出荷ケース数	6	N	△	梱包単位の出荷数	—	○
53	出荷総梱包数	6	N	△	出荷総梱包数	—	○
54	梱包No	36	C	△	梱包No	—	○
55	ITFコード(GTIN-14)	14	C	△	GTIN-14	—	○
56	ITF入数	4	N	△	ITFコード内の数量	—	○
57	欠品区分	2	C	△	欠品時の理由 00欠品なし・11マスターメンテミス 小売責・12発注ミス小売責・21納入者品切れ・22メーカー品切れ	—	○
58	EOS区分	2	C	△	01-EOS発注、02-非EOS発注	—	○
59	自由使用欄(2)	10	C	△	双方取り決め事項	○	—
60	余白	39	C	×	使用不可(スペース)		
		570					

第2章 E-VAN標準化内容

5.欠品データ

(1)概要

欠品データは流通企業からの発注に対して、メーカーが在庫確保出来なかった情報をデータで日々提供するものです。注残扱いにするか否かは流通企業とメーカー双方の取り決め事項です。

(2)運用上の注意点

[1] 通常運用

納品データと混在で提供することになります。一つのファイルヘッダーの中に納品データ・欠品データ混在で送信することになります。

(欠品データ単独での運用も可能です)

[2] 納品データと混在送信するとき

欠品データは、納品データに比べセット出来ない項目がありますので運用上注意してください。

セット出来ない項目

- 伝票番号・伝票行No・伝票日付・請求月・納品単価
- 売単価・消費税関連項目

[3] 送信条件

基本的には、欠品データは発注数量全数を納品できないときのみ、送信されます。

(3)欠品データフォーマットの説明

[1]ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"A"	
2	データ種別		9	2	○	"02"	
3	データ	年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yyymmdd)
4	処理	時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)
5	データ日付年月日		9	16	6	○	"000000"(ALLゼロ)
6	データ	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	送信側	予備	9	28	2	○	"00"
8	最終	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	送信先	予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)
10	直接	センターコード	9	38	6	△	・中継センターがある時のみ中継センターの共通取引先コード
11	送信先	予備	9	44	2	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの時はALLゼロ
12	レコードサイズ		9	46	3	○	"128"または"256"
13	レコード件数		9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数
14	帳票枚数		9	55	5	△	"00000"(ALLゼロ)
15	余白	X	60	69 or 197	×	使用不可(スペース) *レコード長が128バイトの時…69バイト レコード長が256バイトの時…197バイト	

No	項目	タイプ	開始位置	桁数 (バイト)	セットサイド		必須 ・ 任意	内容
					発注 データ	メ ー カ ー		
1	レコード区分	X	1	1	—	○	○	"E"
2	データ区分	9	2	2	—	○	○	"03"
3	伝票区分	9	4	2	—	○	○	通常出荷 "02"預け品出荷
4	発注 企業	法人コード	9	6	○	○	○	発注企業の共通取引先コード
5		店コード	X	12	6	○	—	○
6	発注年月日	9	18	6	○	—	△	発注日(西暦:yymmdd)
7	発注No	X	24	8	○	—	△	発注No(8桁以内左詰)
8	発注明細番号	X	32	2	○	—	△	発注明細番号(伝票単位の発 注制度をとっていない場合は スペース)
9	伝票番号	9	34	7	—	—	×	
10	伝票行No.	9	41	1	—	—	×	
11	納品場所コード	X	42	6	○	—	○	納品場所コード (6桁以内左詰)
12	伝票日付	9	48	6	—	—	×	
13	請求月	9	54	2	—	—	×	
14	受注 企業	企業コード	9	56	○	—	○	受注企業の共通取引先コード
15		予備	9	62	2	○	—	○
16	納品 企業	企業コード	9	64	—	○	○	納品企業の共通取引先コード
17		予備	9	70	2	—	○	○
18	商品コード	X	72	13	○	—	○	標準コード(13桁) 短縮コード(8桁) インスタコード(任意)(左詰)
19	商品コード識別区 分	X	85	1	○	—	○	"T"JAN標準 "F"JAN短縮 "I"インスタコード
20	納品数量	9	86	5	—	○	○	"00000"(ALLゼロ)
21	納品単価	9	91	9	—	—	×	
22	発注数量	9	100	5	○	—	○	発注数量(レフトゼロ)
23	納期日付	9	105	6	—	○	×	分納時は全納するための最終 納品予定日
24	色、サイクル、ガス 種	X	111	5	○	—	△	色、サイクル、ガス種等 双方で取り決め
25	売単価	9	116	8	—	—	×	
26	自由使用欄(1)	X	124	5	○	○	△	双方取り決め事項
27	型番	X	129	20	○	—	△	メーカー使用型番(左詰)
28	納品場所名称	X	149	19	○	—	△	納品場所名(左詰)
29	摘要	X	168	9	○	—	△	摘要
30	課税区分	X	177	1	—	—	×	
31	内税外税区分	X	178	1	—	—	×	
32	税関係区分(1)	X	179	1	—	—	×	
33	税関係区分(2)	X	180	1	—	—	×	
34	税額	9	181	8	—	—	×	

35	余白	X	189	24	—	—	×	使用不可(スペース)
36	発注者	X	213	9	○	—	△	発注データの発注者
37	備考	X	222	25	○	—	△	発注データの備考
38	自由使用欄	X	247	10	○	○	△	双方取り決め事項

256Byte

- ①項番27～38の全ての項目が不要なとき、128バイトとする。
- ②項番27～38の何れかの項目が必要なとき、256バイトとする。

第2章 E-VAN標準化内容

6. 納品結果データ

(1) 概要

納品結果データは流通企業がメーカーの納品に対して、受領した結果を請求・支払前にデータで日々提供するものです。

(2) 運用上の注意点

[1] 運用スケジュール

流通企業とメーカー双方のデータ処理タイミングを踏まえて設定しますが、納品差異が生じた場合、当日に迅速な原因調査・対応が行える時間帯の送受信を前提とします。

[2] 検品差異区分

納品数と検品数に差異が生じた原因を情報として付加できる場合、可能な範囲で該当する理由を2桁の区分コードでセットします。区分の詳細は補足説明の(4)-[1]を参照下さい。

但し、伝票検品等で受入をした場合は当区分のセットは必要ありません。

(3) 納品結果データフォーマットの説明

[1] ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"A"	
2	データ種別	9	2	2	○	"12"	
3	データ年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yyymmdd)	
4	データ処理時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)	
5	データ日付年月日	9	16	6	○	"000000"(ALLゼロ)	
6	データ送信側	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	予備	9	28	2	○	"00"	
8	最終送信先	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	
10	直接送信先	センターコード	9	38	6	△	・中継センターがある時のみ中継センターの共通取引先コード ・中継センター無しの際はALLゼロ
11	予備	9	44	2	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの際はALLゼロ	
12	レコードサイズ	9	46	3	○	"256"	
13	レコード件数	9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数	
14	帳票枚数	9	55	5	△	"00000"(ALLゼロ)	
15	余白	X	60	197	×	使用不可(スペース)	

256Byte

[2] 明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	セットサイド		必須・任意	内容
					発注データ	メーカー		

1	レコード区分	X	1	1	-	○	○	"E"	
2	データ区分	9	2	2	-	○	○	"12"納品結果データ	
3	伝票区分	9	4	2	-	○	○	"11"通常入荷 "12"預け品入荷 "13"預け品計上	
4	発注 企業	法人コード	9	6	6	○	○	発注企業の共通取引先コード	
5		店コード	X	12	6	○	-	発注企業の店コード (6桁以内左詰)	
6	発注年月日		9	18	6	○	-	△	発注日(西暦:yymmdd)
7	発注No		X	24	8	○	-	△	発注No(8桁以内左詰)
8	発注明細番号		X	32	2	○	-	△	発注明細番号(伝票単位の発注制度をとっていない場合はスペース)
9	伝票番号		9	34	7	-	○	○	6桁+CD(JANコードの算出方法と同じ)
10	伝票行No.		9	41	1	-	○	△	伝票行No.
11	納品場所コード		X	42	6	○	-	○	納品場所コード (6桁以内左詰)
12	伝票日付		9	48	6	-	○	○	伝票日付(西暦:yymmdd)
13	請求月		9	54	2	-	○	△	請求月
14	受注 企業	企業コード	9	56	6	○	-	○	受注企業の共通取引先コード
15		予備	9	62	2	○	-	○	ステーションアドレス (双方取り決め)
16	納品 企業	企業コード	9	64	6	-	○	○	納品企業の共通取引先コード
17		予備	9	70	2	-	○	○	ステーションアドレス (双方取り決め)
18	商品コード		X	72	13	○	-	○	標準コード(13桁) 短縮コード(8桁) インスタコード(任意)(左詰)
19	商品コード識別区分		X	85	1	○	-	○	標準 "F"JAN短縮 "I"インスタコード
20	納品数量		9	86	5	-	○	○	納品数量
21	納品単価		9	91	9	-	○	○	仕入単価 (銭単位)9999999V99
22	発注数量		9	100	5	○	-	○	入荷検品数量(レフトゼロ)
23	納期日付		9	105	6	-	○	○	入荷検品日付(yymmdd)
24	色、サイクル、ガス種		X	111	5	○	-	△	色、サイクル、ガス種等 双方で取り決め
25	売単価		9	116	8	○	-	△	売単価(円単位)
26	自由使用欄(1)		X	124	5	○	○	△	双方取り決め事項
27	型番		X	129	20	○	-	△	メーカー使用型番(左詰)
28	納品場所名称		X	149	19	○	-	△	納品場所名(左詰)
29	摘要		X	168	9	○	-	△	摘要
30	課税区分		X	177	1	-	○	○	課税 "2"非課税
31	内税外税区分		X	178	1	-	○	○	"1"外税 "2"内税
32	税関係区分(1)		X	179	1	-	○	○	税関係の区分に使用
33	税関係区分(2)		X	180	1	-	○	○	税関係の区分に使用
34	税額		9	181	8	-	○	○	消費税額(円単位)
35	マスター単価		9	189	9	○	-	△	内容については流通・メーカー間で調整及び確認する 単価(銭単位)ZZZZZ9V99 (但し、円以下"00"の時は円までを表示)
36	検品差異区分		X	198	2	-	-	△	検品差異区分をセット。補足説明参照

37	余白	X	200	13	—	—	×	使用不可(スペース)
38	発注者	X	213	9	○	—	△	発注データの発注者
39	備考	X	222	25	○	—	△	発注データの備考
40	自由使用欄	X	247	10	○	○	△	双方取り決め事項

256Byte

(4)補足説明

[1]検品差異区分の定義

区分	差異が生じた理由
10	納品物の外的要因(打痕、外装不良など)
20	納品データと実際の納品との差異(データと納品数・現物の相違、納品データが無い場合など)
30	発注番号照合による発注残引当の相違(発注期限切れ、該当の発注番号が無い場合など)
40	納品データの項目セット不備により引当できない場合(発注店・納品場所・商品などのコード照合不可)
90	その他

(5)拡張E-VAN

納品結果データフォーマットの説明

■ファイルヘッダー

※網かけ表示は、E-VANからの変更点(水色:変更・黄色:項目追加)

No	項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	流通企業側 セット	メーカー側 セット
1	レコード区分	1	C	○	固定値“A”	○	—
2	データ種別	2	C	○	固定値“12”	○	—
3	データ処理年月日	8	N	○	データ処理日付(yyyymmdd)	○	—
4	データ処理時刻	6	N	○	データ処理時刻(hhmmss)	○	—
5	データ日付年月日	8	N	○	トランスレーション日付	○	—
6	データ送信側 センターコード	6	C	○	送信元センターコード	○	—
7	データ送信側 センターコード予備	2	C	○	“00”	○	—
8	最終送信先 センターコード	6	C	○	最終送信先センターコード	○	—
9	最終送信先 センターコード予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	○	—
10	直接センターコード	6	C	△	直接送信先センターコード	○	—
11	直接センターコード 予備	2	C	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの際はALLゼロ	○	—
12	レコードサイズ	3	N	○	レコード長	○	—
13	レコード件数	6	N	○	データ件数	○	—
14	帳票枚数	5	N	△	帳票の枚数	○	—
15	テスト区分ID	1	C	△	テストデータ時は、‘1’ 本番時は、ブランク	○	—
16	余白	300	C	×	使用不可(スペース)		
		364					

■明細

No	データ項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値	流通企業側 セット	メーカー側 セット
----	-------	----	-----	-------	-------	--------------	--------------

				任意			
1	レコード区分	1	C	○	固定値"E"	○	-
2	データ区分	2	C	○	固定値"02"	○	-
3	伝票区分	2	C	○	01通常発注、02預かり出荷、99受注側にて01.02を判断	○	-
4	発注企業法人コード	6	C	○	発注企業の共通取引先コード	○	-
5	発注企業店コード	8	C	○	発注店舗コード	○	-
6	発注年月日	8	N	○	発注日(yyyymmdd)	○	-
7	発注No	14	C	○	発注Noをセット	○	-
8	発注明細番号	2	C	○	発注明細番号(伝票単位の発注制度をとっていない場合は、スペース)	○	-
9	伝票番号	10	N	○	伝票番号	○	-
10	伝票行No	2	N	○	行番号	○	-
11	納品場所コード	8	C	○	納品先の店舗コード	○	-
12	伝票日付	8	N	○	納品日(yyyymmdd)	○	-
13	請求月	2	N	○	請求月	○	-
14	受注企業企業コード	6	C	○	受注企業の共通取引先コード	○	-
15	受注企業予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	○	-
16	納品企業企業コード	6	C	○	納品企業の共通取引先コード	○	-
17	納品企業予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	○	-
18	商品コード	13	C	○	標準JAN・短縮JAN・インスタア	○	-
19	商品コード識別区分	1	C	○	T(JAN標準)、F(JAN短縮)、I(インスタア)	○	-
20	納品数量	7	N	○	納品数量	○	-
21	納品単価	10	N	△	納品単価	○	-
22	原価金額合計	12	N	△	納品数量×納品単価	○	-
23	発注数量	9	N	○	発注数量	○	-
24	受領数量(バラ)	9	N	○	受領数量(バラ)	○	-
25	受領数量(発注単位数)	6	N	○	発注単位での受領数量	○	-
26	納期日付	8	N	○	入荷検品日付(yyyymmdd)	○	-
27	色、サイクル、ガス種	5	C	△	双方取り決めにて使用	○	-
28	売単価	10	N	△	売価単価	○	-
29	自由使用欄(1)	5	C	△	双方取り決めにて使用	○	-
30	型番	20	C	○	メーカー使用型番	○	-
31	納品場所名称カナ	20	C	○	納品場所のカナ名称	○	-
32	摘要	9	C	△	摘要	○	-
33	税区分	2	C	△	01課税、02非課税、03免税、04不課税	○	-
34	内税外税区分	1	C	△	1'外税、2'内税	○	-
35	税関係区分(1)	1	C	△	税関係の区分に使用	○	-
36	税関係区分(2)	1	C	△	税関係の区分に使用	○	-
37	税額	12	N	△	税額	○	-
38	マスター単価	9	N	△	マスター単価	○	-

39	発注者	9	C	△	氏名またはコード	○	—
40	備考	25	C	△	備考	○	—
41	自由使用欄	10	C	△	双方取り決めにて使用	○	—
42	最終納品先納品日	8	N	△	最終納品先納品日	○	—
43	訂正後直接納品先納品日	8	N	△	訂正後直接納品先納品日	○	—
44	訂正後最終納品先納品日	8	N	△	訂正後最終納品先納品日	○	—
45	センター納品書番号	10	N	△	センター納品書番号(双方取り決め事項)	○	—
46	EOS区分	2	C	△	01-EOS発注、02-非EOS発注	○	—
47	訂正区分	2	C	△	00-訂正なし、01-商品違い(取引先責)、02-価格違い(取引先責)、03-誤仕分、04-汚れ、破損、05-遅納、06-鮮度基準外、07-数量不足、08-数量過多、09-その他(小売責)	○	—
48	商品区分	2	C	△	01-定番、02-準特価(中目)、03-特売(チラシ)	○	—
49	発注区分	2	C	△	客注、在庫、プライダル、不良交換等の区分	○	—
50	出荷データ有無区分	2	C	△	01-出荷データ作成要、02-出荷データ作成不要	○	—
51	余白	17	C	×	使用不可		
		364					

第2章 E-VAN標準化内容

7. 請求・支払データ

(1) 概要

[1] 請求データ

請求データは、メーカーから流通企業に対する請求書の内容をデータで月次に提供するもので、流通企業は自社の買掛情報との照合に役立てることができます。

[2] 支払データ

支払データは、流通企業からメーカーに対する支払通知の内容をデータで月次に提供するもので、メーカーは自社の売掛情報との照合に役立てることができます。

(2) 運用上の注意点

[1] 電文の構成

請求・支払データフォーマットには、伝票単位と明細単位の2種類があります。

a. 伝票単位フォーマット

ヘッダー、明細、合計のレコードで構成します。1明細には伝票単位の情報をセットすることができます。

b. 明細単位フォーマット(E-VANのみ)

ヘッダー、明細、合計のレコードで構成します。1明細には明細単位の情報をセットすることができます。

c. 電子帳簿保存法(23年12月猶予期間終了)、インボイス制度(23年10月施行)に対して、順次対応する。

(3) 請求・支払データフォーマット(伝票単位)の説明

[1] 伝票ヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"B"	
2	データ区分	9	2	2	○	"05" 伝票単位の請求(メーカー→流通企業) "07" 伝票単位の支払(流通企業→メーカー)	
3	伝票区分	9	4	2	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求 *伝票単位レコードで分類する場合は"00"とする。	
4	発注企業	法人コード	9	6	6	○	発注企業の共通取引先コード
5		店コード	X	12	6	△	発注企業の店コード(6桁以内左詰)
6	支払先企業コード		9	18	8	○	請求企業の共通取引先コードで支払先のコード
7	取引先名		X	26	30	△	取引先名(左詰)(請求元メーカー・販売名)
8	データ作成日		9	56	6	○	作成日(西暦:yyymmdd)
9	請求月		9	62	2	○	請求する月(伝票上に表示される請求月と同条件)
10	銀行コード		9	64	4	△	全銀協コード
11	支店コード		9	68	3	△	全銀協コード

12	預金種目	9	71	1	△		
13	口座番号	9	72	7	△		
14	預金種目名	X	79	6	△		
15	口座名称	X	85	35	△		
16	余白	X	120	4	×	使用不可(スペース)	
17	自由使用欄	X	124	5	△	双方取り決め事項	128Byte
18	請求先企業コード	9	129	8	△	伝票単位レコード内(当ヘッダー内)の請求企業コード	
19	余白	X	137	100	×	使用不可(スペース)	
20	メーカー自由使用欄	X	237	20	△	請求データにメーカー側でセットしたものを支払データにセットして返却する	256Byte

①項番18～20の全ての項目が不要なとき、128バイトとする。

②項番18～20の何れかの項目が必要なとき、256バイトとする。

[2]明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容
1	レコード区分	X	1	1	○	"D"
2	データ区分	9	2	2	○	"05"伝票単位の請求(メーカー→流通企業) "07"伝票単位の支払(流通企業→メーカー)
3	データSEQ	9	4	6	○	レコード単位に一連No.をセット
4	アイテムNo.	9	10	1	○	レコード内の伝票1～4をセット
5	伝票区分	9	11	2	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求
6	リポート理由区分	X	13	2	△	双方取り決め事項
7	納品場所コード	X	15	6	△	納品場所コード(左詰) 但し、店単位で1パッチの場合はスペース
8	納品企業コード	9	21	8	△	共通取引先コード 但し、ヘッダー受注企業と同一の場合はオールゼロ
9	伝票番号	9	29	7	○	6桁+CD
10	伝票日付	9	36	6	○	伝票日付を西暦で表示
11	伝票合計金額	9	42	9	○	伝票単位の合計欄の金額
12	税額	9	51	8	△	税額(円単位)
13	支払マッチ区分	9	59	1	△	支払データに使用
14	余白	X	60	4	×	使用不可(スペース)
15	自由使用欄	X	64	5	△	双方取り決め事項
16	伝票(2)		69	59		①伝票(2)～(4)は伝票(1)と同じ構成とする。 ②データが無い場合はスペースをセット
17	伝票(3)		128	59		
18	伝票(4)		187	59		
19	余白	X	246	11	×	使用不可(スペース)

256Byte

*レコードサイズが128バイトの場合は、「伝票(2)」までセット後、128バイト目に「スペース」をセットする

[3]合計レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容
1	レコード区分	X	1	1	○	"T"

2	データ区分	9	2	2	○	"05"伝票単位の請求(メーカー→流通企業) "07"伝票単位の支払(流通企業→メーカー)	
3	伝票区分	9	4	2	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求 *伝票単位レコードで分類する場合は"00"とする。	
4	発注 企業	法人コード	9	6	6	○	発注企業の共通取引先コード
5	店コード	X	12	6	△	発注企業の店コード(6桁以内左詰)	
6	支払先企業コード	9	18	8	○	請求企業の共通取引先コードで支払先のコード	
7	請求先企業コード	9	26	8	△	伝票単位レコードの中(当ヘッダー内)の請求企業コード	
8	伝票枚数	9	34	5	○	伝票の合計枚数	
9	請求金額	9	39	11	○	請求差引き金額のサイン付(プラス:FまたはC/マイナス:D)	
10	税額	9	50	10	△	税額のサイン付(円単位)(プラス:FまたはC/マイナス:D)	
11	余白	X	60	69 197	—	使用不可(スペース) *レコード長が128バイトの時...69バイト レコード長が256バイトの時...197バイト	

(4)請求・支払データフォーマット(明細単位)の説明

[1]伝票ヘッダー

○...必須、△...任意、×...不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"B"	
2	データ区分	9	2	2	○	"06"明細単位の請求(メーカー→流通企業) "08"明細単位の支払(流通企業→メーカー)	
3	伝票区分	9	4	2	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求 *明細レコードで分類する場合は"00"とする。	
4	発注 企業	法人コード	9	6	6	○	発注企業の共通取引先コード
5	店コード	X	12	6	△	発注企業の店コード(6桁以内左詰)	
6	支払先企業コード	9	18	8	○	請求企業の共通取引先コードで支払先のコード	
7	取引先名	X	26	30	△	取引先名(左詰)(請求元メーカー・販売名)	
8	データ作成日	9	56	6	○	作成日(西暦:yymmdd)	
9	請求月	9	62	2	○	請求する月(伝票上に表示される請求月と同条件)	
10	銀行コード	9	64	4	△	全銀協コード	
11	支店コード	9	68	3	△	全銀協コード	
12	預金種目	9	71	1	△		
13	口座番号	9	72	7	△		
14	預金種目名	X	79	6	△		
15	口座名称	X	85	35	△		
16	余白	X	120	4	×	使用不可(スペース)	
17	自由使用欄	X	124	5	△	双方取り決め事項	
18	請求先企業コード	9	129	8	△	伝票単位レコード内(当ヘッダー内)の請求企業コード	
19	余白	X	137	100	×	使用不可(スペース)	

128Byte

20	メーカー自由使用欄	X	237	20	△	請求データにメーカー側でセットしたものを支払データにセットして返却する
----	-----------	---	-----	----	---	-------------------------------------

256Byte

- ①項番18～20の全ての項目が不要なとき、128バイトとする。
 ②項番18～20の何れかの項目が必要なとき、256バイトとする。

[2]明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容
1	レコード区分	X	1	1	○	"D"
2	データ区分	9	2	2	○	"06"明細単位の請求(メーカー→流通企業) "08"明細単位の支払(流通企業→メーカー)
3	データSEQ	9	4	6	○	レコード単位に一連No.をセット
4	伝票区分	9	10	2	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求
5	割戻しコード	X	12	2	△	双方取り決め事項
6	伝票日付	9	14	6	○	伝票日付を西暦で表示
7	伝票番号	9	20	7	○	6桁+CD
8	伝票行No.	X	27	1	△	出荷伝票の行No.(納品書と照合用)
9	発注No.	X	28	8	△	発注時の発注No.(8桁以内左詰)
10	納品場所コード	X	36	6	○	納品場所コード(左詰) 但し、店単位で1バッチの場合はスペース
11	納品企業コード	9	42	8	○	共通取引先コード 但し、ヘッダー受注企業と同一の場合はオールゼロ
12	商品コード識別区分	X	50	1	○	"T"JAN標準 または、 "F"JAN短縮 または、 "I"インスタアコード
13	商品コード	X	51	13	○	標準コード(13桁) 短縮コード(8桁) インスタアコード(任意)(左詰)
14	型番	X	64	20	△	メーカー使用型番
15	数量	9	84	5	○	納品数量(レフトゼロ)
16	納品単価	9	89	9	○	受発注フォーマットに同じ銭単位までセット (レフトゼロ)
17	伝票金額	9	98	9	○	数量×納品単価(円単位)
18	値引後金額	9	107	9	△	割戻し、値引後の正味金額(円単位)
19	自由使用欄(1)	X	116	9	△	双方取り決め事項(上記以外の割戻し金額など)
20	支払マッチ区分	X	125	1	△	支払データに使用
21	税率リザーブエリア	X	126	3	×	税率(%)
22	自由使用欄(2)	X	129	9	△	双方取り決め事項
23	自由使用欄(3)	X	138	9	△	双方取り決め事項
24	自由使用欄(4)	X	147	9	△	双方取り決め事項
25	自由使用欄(5)	X	156	9	△	双方取り決め事項
26	課税区分	X	165	1	△	1:課税、2:非課税
27	内税課税区分	X	166	1	△	1:外税、2:内税
28	*1	X	167	1	△	税関係の区分に使用
29	*2	X	168	1	△	税関係の区分に使用
30	税額1(伝票金額)	9	169	8	△	伝票金額ベースの税額
31	税額2(値引後金額)	9	177	8	△	値引後の正味金額に対応した税額

128Byte

32	余白	X	185	52	×	使用不可(スペース)
33	メーカー自由使用欄	X	237	20	△	請求データにメーカー側でセットしたものを 支払データにセットして返却する

256Byte

- ①項番22～33の全ての項目が不要なとき、128バイトとする。
②項番22～33の何れかの項目が必要なとき、256バイトとする。

[3]合計レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容
1	レコード区分	X	1	1	○	"T"
2	データ区分	9	2	2	○	"06"明細単位の請求(メーカー→流通企業) "08"明細単位の支払(流通企業→メーカー)
3	伝票区分	9	4	2	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求 *明細レコードで分類する場合は"00"とする。
4	発注	法人コード	9	6	○	発注企業の共通取引先コード
5	企業	店コード	X	12	△	発注企業の店コード(6桁以内左詰)
6	支払先企業コード	9	18	8	○	請求企業の共通取引先コードで支払先のコード
7	請求先企業コード	9	26	8	△	伝票単位レコードの中(当ヘッダー内)の請求企業コード
8	伝票枚数	9	34	5	○	伝票の合計枚数
9	請求金額	9	39	11	○	請求差引き金額のサイン付(プラス:FまたはC/マイナス:D)
10	税額1	9	50	10	△	税額1の合計金額(サイン付円単位) (プラス:FまたはC/マイナス:D)
11	税額2	9	60	10	△	税額2の合計金額(サイン付円単位) (プラス:FまたはC/マイナス:D)
12	余白	X	70	59 187	—	使用不可(スペース) *レコード長が128バイトの時…59バイト レコード長が256バイトの時…187バイト

(5)拡張E-VAN

請求支払データフォーマットの説明

■ファイルヘッダー

※網がけ表示は、E-VANからの変更点(水色:変更・黄色:項目追加・紫色:流通側要望で追加)

No	項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値
1	レコード区分	1	C	○	固定値"A"
2	データ種別	2	C	○	固定値"05"請求 "07"支払
3	データ処理年月日	8	N	○	データ処理日付(yyyymmdd)
4	データ処理時刻	6	N	○	データ処理時刻(hhmmss)
5	データ日付年月日	8	N	○	トランスレーション日付
6	データ送信側 センターコード	6	C	○	送信元センターコード
7	データ送信側 センターコード予備	2	C	○	"00"
8	最終送信先 センターコード	6	C	○	最終送信先センターコード

9	最終送信先 センターコード予備	2	C	○	ステーションアドレス(双方取り決め)
10	直接センターコード	6	C	△	直接送信先センターコード
11	直接センターコード 予備	2	C	△	・ステーションアドレス(双方取り決め) ・中継センター無しの際はALLゼロ
12	レコードサイズ	3	N	○	レコード長
13	レコード件数	6	N	○	データ件数
14	帳票枚数	5	N	△	帳票の枚数
15	テスト区分ID	1	C	△	テストデータ時は、'1' 本番時は、ブランク
16	余白	513	C	×	使用不可(スペース)
		577			

■明細1

No	項目	桁数	タイプ	必須 ・ 任意	項目設定値	
1	レコード区分	1	C	○	固定値"B"	
2	データ区分	2	C	○	固定値"05"請求 "07"支払	
3	伝票区分	2	N	○	01通常発注、02預かり出荷、99受注側にて01・02を判断	
4	発注 企業	法人コード	6	C	○	発注企業の共通取引先コード
5		店コード	8	C	○	発注店舗コード
6		発注企業名称	40	K	△	発注企業の名称(漢字20文字)
7		発注企業名称(カナ)	20	C	△	発注企業の名称名称カナ
8		発注企業・店 名称	20	C	△	発注店舗名称
9	支払先企業 (請求取引先コード)	8	C	○	支払先企業の共通取引先コード	
10	支払先 企業	支払先企業名称 (請求取引先コード)	40	K	△	支払先企業の名称(漢字20文字)
11		支払先企業名称(カナ) (請求取引先コード)	20	C	△	支払先企業の名称カナ
12	データ作成日	8	N	○	データ作成日(yyyymmdd)	
13	請求月	2	N	○	請求月度	
14	対象期間開始	8	N	△	支払対象期間の開始日	
15	対象期間終了	8	N	△	支払対象期間の終了日	
16	請求書番号	10	N	△	メーカー、卸で振る請求書の番号	
17	銀行コード	4	N	△	全銀協コード	
18	支店コード	3	N	△	全銀協コード	
19	預金種目	1	N	△	預金種目	
20	口座番号	7	N	△	口座番号	
21	預金種目名	6	C	△	預金種目名	
22	口座名称	35	C	△	口座名称	
23	自由使用欄	5	C	△	双方取り決めにて使用	
24	請求先企業コード	8	C	○	伝票単位レコード内(当ヘッダー内)の請求企業コード	
25	メーカー自由使用欄	32	C	△	請求データにメーカー側でセットしたものを支払データにセットして 返却	
26	余白	273	C	×	使用不可(スペース)	
		577				

■明細2

No	項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値
1	レコード区分	1	C	○	固定値"D"
2	データ区分	2	C	○	固定値"05"請求 "07"支払
3	データSEQ	6	N	○	レコード単位に一連No.をセット
4	アイテムNo.	1	N	○	レコード内の伝票1~4をセット
5	商品分類(大)	10	C	△	商品大分類
6	商品分類(中)	10	C	△	商品中分類
7	伝票区分	2	N	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求
8	リベート理由区分	2	C	△	双方取り決めにて使用
9	納品場所コード	8	C	○	納品店舗コード
10	納品企業コード	8	C	○	納品企業の共通取引先コード
11	伝票番号	10	N	○	伝票番号
12	伝票日付	8	N	○	伝票の納品日付
13	伝票合計金額	12	N	○	伝票の合計金額
14	税額	8	N	△	税額(円単位)
15	税区分	2	C	△	01課税、02非課税、03免税、04不課税
16	税率	3	N	△	%でセット
17	請求区分	2	C	△	01-今回請求、02-前回繰越請求
18	未払買掛区分	2	C	△	01-買掛、02-未払金
19	支払マッチ区分	1	C	△	支払データに使用
20	発行区分	2	C	△	メーカー、卸が請求時に任意で使用
21	連番	5	N	△	発行区分内での連番
22	照合結果	2	C	△	00-無指定、01-請求照合分支払、 02-請求の無い返品・値引き・相殺、 03-再調査請う、04-計上払対象、21-99は独自使用可
23	支払内容	4	C	△	伝種(1001仕入、1002返品)
24	支払内容(個別)	4	C	△	支払内容(個別)
25	支払内容(個別名称カナ)	25	C	△	支払内容(個別名称カナ)
26	支払方法区分	2	C	△	支払方法区分
27	余白	4	C	×	使用不可
28	自由使用欄	5	C	△	双方取り決めにて使用
29	伝票(2)	142			①伝票(2)~(4)は伝票(1)と同じ構成とする。 ②データが無い場合はスペースをセット
30	伝票(3)	142			
31	伝票(4)	142			
		577			

■トレーター

No	項目	桁数	タイプ	必須・任意	項目設定値
1	レコード区分	1	C	○	固定値"T"
2	データ区分	2	N	○	固定値"05"請求 "07"支払

3	伝票区分		2	N	○	"01"通常出荷 "07"その他控除 "03"預け品計上 "08"割戻し(値引) "04"返品 "09"逆割戻し(値増) "06"その他請求 *伝票単位レコードで分類する場合は"00"とする。
4	発注 企業	法人コード	6	C	○	発注企業の共通取引先コード
5		店コード	8	C	○	発注店舗コード(8桁以内左詰)
6	支払先企業		8	C	○	請求企業の共通取引先コードで支払先のコード
7	請求先企業コード		8	C	○	伝票単位レコードの中(当ヘッダー内)の請求企業コード
8	伝票枚数		5	N	○	伝票の合計枚数
9	請求金額		12	N	○	請求差引き金額のサイン付(プラス:FまたはC/マイナス:D)
10	税額		12	N	△	税額のサイン付(円単位)(プラス:FまたはC/マイナス:D)
11	余白		513	C	×	使用不可
			577			

第2章 E-VAN標準化内容

8. 実売データ

(1) 概要

実売データは流通企業からメーカーに対して、流通企業内の店舗売上情報をデータで日々提供するものです。

(2) 運用上の注意点

[1] 基本運用

実売データは日次での作成・提供を基本とし、以下の要領でヘッダー日付をセットします。

(項番5)データ日付年月日:流通企業の売上日(POS売上日)とする。

(項番16)対象期間 開始日:同上。

(項番17)対象期間 終了日:同上。

[2] 例外

上記[1]での対応が困難な場合には週次・月次データでの作成・提供も可能です。

その場合は以下の要領でヘッダー日付をセットします。

(項番5)データ日付年月日:対象期間の終了日をセット。

(項番16)対象期間 開始日:対象期間の開始日をセット。

(項番17)対象期間 終了日:対象期間の終了日をセット。

例)2003年10月1日から2003年10月7日までの実売データを累計し提供する場合は以下の通りです。

(項番5)データ日付年月日:「031007」

(項番16)対象期間 開始日:「031001」

(項番17)対象期間 終了日:「031007」

尚、月次の場合も上記に準じてセットします。

(3) 実売データフォーマットの説明

[1] ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"P"	
2	データ種別		2	2	○	"11"	
3	データ	年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yymmdd)
4	処理	時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)
5	データ日付年月日		9	16	6	○	①日次データ作成時:POS売上日 ②週次・月次データ作成時:対象期間の終了日(西暦:yymmdd)
6	データ	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	送信側	予備	9	28	2	○	"00"
8	最終	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	送信先	予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)
10	直接	センターコード	9	38	6	△	8項同様またはALLゼロ(通常はALLゼロ)
11	送信先	予備	9	44	2	△	9項同様またはALLゼロ(通常はALLゼロ)
12	レコードサイズ		9	46	3	○	"256"
13	レコード件数		9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数
14	自由使用欄		9	55	5	△	双方取り決め事項

15	取引先コード		9	60	6	○	発注企業指定の仕入先コード (サプライヤーの共通取引先コード)
16	対象 期間	開始日	9	66	8	○	実売データ抽出開始年月日(西暦:yyyymmdd)
17		終了日	9	74	8	○	実売データ抽出終了年月日(西暦:yyyymmdd)
18	余白		X	82	175	×	使用不可(スペース)

256Byte

[2]明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始 位置	桁数 (バイト)	必須 ・ 任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"B"	
2	データ区分	9	2	2	○	"11"	
3	店舗コード	X	4	6	○	取引先の店舗コード	
4	ループ数	9	10	1	○	下記の「商品1~4」でデータが存在する数(1~4)	
5	商 品 1	商品コード識別区分	X	11	1	○	"T":標準, "F":短縮, "I":インスタ
6		商品コード	X	12	13	○	JANコード、または商品コード
7		型番	X	25	20	○	メーカー使用型番
8		実売数量符号	X	45	1	○	実売数量の"+”または"-”符号
9		実売数量	9	46	6	○	対象期間内の累計販売数量
10		実売金額符号	X	52	1	△	実売金額の"+”または"-”符号
11	実売金額	9	53	10	△	対象期間内の累計販売金額	
12	商品2	-	63	52	-	商品1と同じ構成とする ※データがない場合はスペース	
13	商品3		115	52			
14	商品4		167	52			
16	余白	X	219	38	×	使用不可(スペース)	

256Byte

第2章 E-VAN標準化内容

9.在庫データ

(1)概要

在庫データは流通企業からメーカーに対して、流通企業の店舗及び倉庫(物流センター)などの在庫情報をデータで提供するものです。

(2)運用上の注意点

- [1] 在庫勘定の定義
流通企業内で移動中の商品は何れかの在庫に含まれていることとします。
- [2] 基本運用
在庫データは日次での作成・提供を基本とし、以下の要領でヘッダー日付をセットします。
(項番5)データ日付年月日:流通企業の在庫確定日とする。
(項番16)対象期間 開始日:同上。
(項番17)対象期間 終了日:同上。
- [3] 例外
上記[2]での対応が困難な場合には週次・月次データでの作成・提供も可能です。
その場合も上記[2]の要領でヘッダー日付をセットします。

(3)在庫データフォーマットの説明

[1]ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"P"	
2	データ種別	9	2	2	○	"10"	
3	データ 処理	年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yymmdd)
4		時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)
5	データ日付年月日	9	16	6	○	在庫確定日(西暦:yymmdd)	
6	データ	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	送信側	予備	9	28	2	○	"00"
8	最終 送信先	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9		予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)
10	直接 送信先	センターコード	9	38	6	△	8項同様またはALLゼロ(通常はALLゼロ)
11		予備	9	44	2	△	9項同様またはALLゼロ(通常はALLゼロ)
12	レコードサイズ	9	46	3	○	"256"	
13	レコード件数	9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数	
14	自由使用欄	9	55	5	△	双方取り決め事項	
15	取引先コード	9	60	6	○	発注企業指定の仕入先コード (サプライヤーの共通取引先コード)	
16	対象 期間	開始日	9	66	8	○	在庫データ抽出年月日(西暦:yyyymmdd)
17		終了日	9	74	8	○	在庫データ抽出年月日(西暦:yyyymmdd)
18	余白	X	82	175	×	使用不可(スペース)	

No	項目	タイプ	開始位置	桁数 (バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"B"	
2	データ区分	9	2	2	○	"10"	
3	店舗(倉庫)コード	X	4	6	○	取引先の店舗(倉庫)コード	
4	ループ数	9	10	1	○	下記の「商品1～4」でデータが存在する数(1～4)	
5	商品1 商	商品コード識別区分	X	11	1	○	"I":標準, "F":短縮, "I":インスタ
6		商品コード	X	12	13	○	JANコード、または商品コード
7		型番	X	25	20	○	メーカー使用型番
8		在庫数量符号	X	45	1	○	在庫数量の"+"または"-符号
9		在庫数量	9	46	7	○	データ抽出日の総在庫数量
10		売約在庫数量	9	53	5	△	売約引当済み在庫数量(総在庫数量の内訳)
11	展示在庫数量	9	58	3	△	展示在庫数量(総在庫数量の内訳)	
12	商品2	-	61	50	-	商品1と同じ構成とする ※データがない場合はスペース	
13	商品3		111	50			
14	商品4		161	50			
16	余白	X	211	46	×	使用不可(スペース)	

256Byte

第2章 E-VAN標準化内容

10. 移動データ

(1) 概要

移動データは流通企業からメーカーに対して、流通企業内の商品移動の情報をデータで日々提供するものです。

(2) 運用上の注意点

[1] 移動勘定の定義

移動データは移動元(店舗・倉庫)から商品が在庫した時点で作成します。

[2] 基本運用

移動データは日次での作成・提供を基本とし、以下の要領でヘッダー日付をセットします。

(項番5)データ日付年月日: 商品の出庫日とする。

(項番16)対象期間 開始日: 同上。

(項番17)対象期間 終了日: 同上。

[3] 例外

上記[2]での対応が困難な場合には週次・月次での作成・提供も可能です。

その場合は以下の要領でヘッダー日付をセットします。

(項番5)データ日付年月日: 対象期間の終了日をセット。

(項番16)対象期間 開始日: 対象期間の開始日をセット。

(項番17)対象期間 終了日: 対象期間の終了日をセット。

例)2003年10月1日から2003年10月7日までのデータを累計し提供する場合は以下の通りです。

(項番5)データ日付年月日:「031007」

(項番16)対象期間 開始日:「20031001」

(項番17)対象期間 終了日:「20031007」

尚、月次の場合も上記に準じてセットします。

[4] 送信済みデータは以下の方法にて修正します。

a. 全数取り消す場合

移動元店舗コードと移動先店舗コードを置き換えてデータを作成。

b. 移動数量を減じる場合

移動元店舗コードと移動先店舗コードを置き換え、移動数量に差分をセット。

c. 移動数量を増加する場合

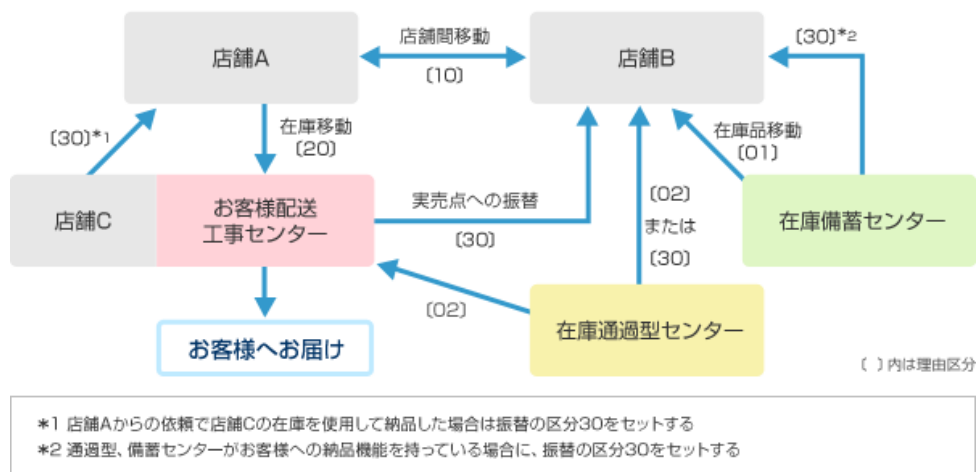
移動数量に差分をセット。

レコード区分	データ区分	移動元店舗コード	商品1				
			型番	移動先店舗コード	移動数量		
D	13	000010	ABC	000100	20		
例) (送信済みデータ)							
a.全数取消	店舗コードを入れ替える	D	13	000100	ABC	000010	20
b.数量減	店舗コードを入れ替え、移動数量に差分セット。 この場合は20台→15台	D	13	000100	ABC	000010	5
c.数量増	移動数量に差分セット。 この場合は20台→25台	D	13	000010	ABC	000100	5

- [5] 付加情報
 移動商品の在庫形態や移動理由の情報を付加できる場合は、自由使用欄を利用し下記の理由区分をセットします。

理由区分	移動商品の在庫形態、移動理由
01	在庫備蓄センターの在庫品移動
02	在庫通過型センター納品の出庫
10	営業店舗間での在庫品の移動
20	実売店の在庫を、お客様配達・工事担当の店舗・センターへ移動
30	お客様配達・工事担当の店舗・センター在庫を実売店に振替
90	その他の理由による商品移動

移動データ理由区分関連図



(3)移動データフォーマットの説明

[1]ファイルヘッダー

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	必須・任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"A"	
2	データ種別	9	2	2	○	"13"移動データ	
3	データ年月日	9	4	6	○	処理日付(西暦:yymmdd)	
4	処理時刻	9	10	6	○	処理時刻(hhmmss)	
5	データ日付年月日	9	16	6	○	①日次データ作成時:在庫移動日 ②週次・月次データ作成時:対象期間の移動最終日(西暦:yymmdd)	
6	データ送信側	センターコード	9	22	6	○	送信側の共通取引先コード
7	予備	9	28	2	○	"00"	
8	最終送信先	センターコード	9	30	6	○	最終送信先の共通取引先コード
9	予備	9	36	2	○	ステーションアドレス(双方取り決め)	
10	直接送信先	センターコード	9	38	6	△	8項同様またはALLゼロ(通常はALLゼロ)
11	予備	9	44	2	△	9項同様またはALLゼロ(通常はALLゼロ)	
12	レコードサイズ	9	46	3	○	"256"	
13	レコード件数	9	49	6	○	ファイルヘッダーを含む1ファイル内のレコード件数	
14	自由使用欄	9	55	5	△	双方取り決め事項	
15	取引先コード	9	60	6	○	発注企業指定の仕入先コード (サプライヤーの共通取引先コード)	

16	対象 期間	開始日	9	66	8	○	①日次データ作成時:在庫移動日 ②週次・月次データ作成時:対象期間の移動開始日 (西暦:yyyymmdd)
17		終了日	9	74	8	○	①日次データ作成時:在庫移動日 ②週次・月次データ作成時:対象期間の移動最終日 (西暦:yyyymmdd)
18	余白		X	82	175	×	使用不可(スペース)

256Byte

[2]明細レコード

○…必須、△…任意、×…不要(スペース)

No	項目	タイプ	開始 位置	桁数 (バイト)	必須 ・ 任意	内容	
1	レコード区分	X	1	1	○	"D"	
2	データ区分	9	2	2	○	"13"移動データ	
3	移動元店舗コード	X	4	6	○	移動元の店舗コード	
4	ループ数	9	10	1	○	下記の「商品1～5」でデータが存在する数(1～5)	
5	商 品 1	商品コード識別区分	X	11	1	○	"T":標準, "F":短縮, "I":インスタ
6		商品コード	X	12	13	○	JANコード、または商品コード
7		型番	X	25	20	○	メーカー使用型番
8		移動先店舗コード	X	45	6	○	移動先の店舗コード
9		移動数量	9	51	7	○	対象期間内の累計移動数量
10	商品2	X	58	47	—	商品1と同じ構成とする ※データがない場合はスペース	
11	商品3	X	105	47	—		
12	商品4	X	152	47	—		
13	商品5	X	199	47	—		
14	自由使用欄	X	246	11	△	双方取り決め事項をセット。取り決め無き場合はスペース	

256Byte

第3章 R-VAN標準化内容

1. [基本データフォーマット](#) >
2. [発注時に欠品が出た場合の処理方法](#) >
3. [配送パターン](#) >
4. [納品希望日](#) >
5. [セット品の扱い](#) >
6. [回答メッセージ](#) >
7. [詳細レコードフォーマット](#) >

○ EDI 標準化仕様

第3章 R-VAN標準化内容

1. 基本データフォーマット

(1) 流通企業 → メーカー

ヘッダー	明細(1)	明細(2)	明細(3)	……	……
------	-------	-------	-------	----	----

明細行は必要行数で可

(2) メーカー → 流通企業

ヘッダー	明細(1)-1	明細(1)-2	明細(1)-3	明細(2)-1	明細(2)-2	明細(3)-1	……
------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	----

ヘッダー、明細(1)-1～明細(3)-1は上り電文に対応、-2、-3は在庫がない場合、代替モデルの案内にメーカー側が自由に付加することができる。

従って上り明細行が3行のとき、最大9行の下り明細行が発生することがある。

2. 発注時に欠品が出た場合の処理方法

欠品取扱区分	在庫なしの場合	一部しか在庫がない場合
1	バックオーダー登録	全数揃ってから出荷
2	バックオーダー登録	あるだけ出荷し残りは入荷次第
3	注文取り消し	あるだけ出荷し残りは取り消し
4	注文取り消し	注文取り消し

この指定を発注の都度行うのはオペレータには複雑になるので、流通企業毎処理パターンをあらかじめ決めておく。

3. 配送パターン

メーカー倉庫に直接取りに行く場合、その旨の登録が可能。

4. 納品希望日

納品日を指定することが可能。

在庫の引当をするため、基本的には14日以内とするが、時期やメーカーの処理に違いがある。

5. セット品の扱い

エアコンの室内外一式、コンパステレオー式等、セット品の注文は、対応したJANコードがある場合を除き対応可能品はメーカー個別に案内する。

6. 回答メッセージ

納品日	出荷可能品については、納品日を回答する。
数量	出荷可能数量を回答する。
伝票番号(または受付番号)	納品可能品については、伝票番号または受付番号を回答する。受付番号を回答する場合納品伝票に表示する。

7. 詳細レコードフォーマット

H:ヘッダー部

	項目	タイプ	開始位置	桁数 (バイト)	摘要	流通側セット					
						発注型 在庫照会	発注	在庫照会	最終データ 確認照会		
A1	レコード 区分	X	1	1	'E'…コンスタント'E'以外はエラー	◎	◎	◎	◎		
A2	伝票区分	9	2	2	コード	内容	◎	◎	◎	◎	
					11	発注型 在庫照会 (端末- ホスト- 回答)					11・12・13・ 14以外は エラー
					12	発注 (端末- ホスト- 回答)					
					13	在庫照会					
14	最終デ ータ確認 照会										
A3	データ区分	9	4	2	コード	内容	◎	◎	◎	◎	
					10	流通～メーカー・販社 へ(上り電文)					
					20	メーカー・販社～流通 へ(下り電文)					
B1	システム エリア	X	6	20		-	-	-	-		
C1	発注企業 コード (法人コード)	X	26	6	発注企業の共通取引先コード メーカー内テーブルと不一致はエ ラーとなります。	◎	◎	◎	◎		
C2	発注企業 コード (店コード)	X	32	6	発注企業の店コード(6桁以内左 詰) メーカー内テーブルと不一致はエ ラーとなります。	◎	◎	◎	◎		
D1	発注No.	X	38	8	発注No.(8桁以内左詰)明細部にも 発注No.があるが、どちらか一方の みを使用。明細部の入力もある場 合は、明細部優先とします。(組み 合わせ使用は不可)(ヘッダー部明 細部のどちらも入力エラーとなり ます)	○	○	×	×		
E1	受付番号 (伝票番号)	X	46	8	メーカー側ホストで処理した際に付 与する受付番号。(体系は特に定 めてありませんが、指定納品書の 伝票No.をセットするメーカーもあ ります)	×	×	×	×		
F1	納品場所 コード	X	54	6	発注された商品を納品する店また は倉庫コード(6桁以内) 入力がない場合、発注企業・店コ ードと同一と判断します。	○	○	○	×		
G1	納品希望日 (年月日)	9	60	6	通常はスペース(年号は西暦) 納品日を希望される場合はセットし て下さい。 在庫の引当をするため、基本的に	○	○	×	×		

					は14日以内としますが、時期やメーカーの処理に違いがあります。				
H1	受注企業コード	X	66	8	受注企業の共通取引先コード XXXXXX NN-ステーションアドレス(双方取り決め事項) 共通取引先コード(流通システム開発センター登録)	○	○	×	×
I1	発注者	X	74	9	発注者名または発注者コード(左詰)スペースはエラー	◎	◎	○	-
J1	商品明細数	9	83	2	明細部の個数がセットされている(明細部の件数と合致している事)	◎	◎	◎	×
K1	欠品取扱区分	X	85	1	通常は“3”をセット(スペースまたは1~4以外は3とみなします) 1・2・3・4のいずれかをセット	○	○	×	×
L1	配送パターン	X	86	1	メーカー倉庫へ来社引取り時のみ、“H”をセット 通常はスペース(H以外が入力された時はスペースとして処理します)	○	○	×	×
M1	備考	X	87	25	双方取り決め事項	○	○	×	×
	余白	X	112	17		-	-	-	-

※1

◎は必須項目

在庫照会／発注(回答)

H:ヘッダー部

	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	摘要	流通側セット			
						発注型在庫照会	発注	在庫照会	最終データ確認照会
	備考	X	87	25		-	-	-	-
N1	回答メッセージコード	X	112	2	回答メッセージコードが入る	○	○	○	○
P1	電文	X	114	15	カタカナでのメッセージが入る	○	○	○	○

※2

※2

(補足)

発注型在庫照会の時

伝票区分は最初に“11”をセットし回答が戻ったら次は“12”をセットする。

欠品取扱区分

例 5台注文中3台しか在庫がなかった場合の取り扱いを指定するもの

区分“1”5台全てバックオーダーとしてもらい、分納はしない

“2”3台は出荷し、2台をバックオーダーとする

“3”3台は出荷し、2台はバックオーダーとしない

必要な場合は2台を再発注する

“4”5台とも全て不要とする。必要な場合は再発注する

※1 上り電文の場合

※2 下り電文の場合

(2)在庫照会／発注(明細部)

在庫照会／発注

D:明細部

	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	摘要	流通側セット			
						発注型在庫照会	発注	在庫照会	最終データ確認照会
1A	発注明細番号	X	1	1	1行目の場合“1”2行目の場合“2” 3行目の場合“3”をセット これ以外はエラー	◎	◎	◎	×

1B	枝番	X	2	1	発注明細番号に対する枝番で1件目は"1"をセット	◎	◎	◎	◎
2A	発注No.	X	3	8	発注No.(8桁以内左詰)ヘッダー部にも発注No.があるがどちらか一方を使用する。両方入力された場合は明細部優先とします。(組み合わせ使用は不可)	○	○	×	×
3A	商品コード	X	11	13	JANコードをセット 標準13桁 短縮8桁左詰め ※型番をセットの場合は省略可	○	○	○	×
4A	型番	X	24	20	メーカー型番をセット 特殊文字[/, -, (,)]は省略可 * 商品コードをセットの場合は省略可 商品コードと型番の両方がセットされている時は商品コードが優先される	○	○	○	×
5A	自由使用(1)	X	44	5	双方取り決め事項をセット	-	-	-	-
6A	数量	9	49	5	発注数量(レフトゼロ)(メーカー内で1回の発注量を超えるものでロットによってはエラーになるケースがあります)	◎	◎	×	×
7A	余白	X	54	9		-	-	-	-
8A	売単価	9	63	8	売単価をレフトゼロでセット (伝票上の摘要(売単価)にセットします)	○	○	×	×
9A	摘要	X	71	9	通常はスペース(年号は西暦) 納品日を希望される場合はセットして下さい。 在庫の引当をするため、基本的には14日以内としますが、時期やメーカーの処理に違いがあります。	○	○	×	×
0A	自由使用(2)	X	80	12	双方取り決め事項をセット	-	-	-	-
	余白	X	92	1		-	-	-	-

	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	摘要	メーカー側セット					
						発注型在庫照会	発注	在庫照会	最終データ確認照会		
R1	納品予定数	9	93	5	メーカー側で下り電文上にセット 流通側はスペース	○	○	○	○	※3	
S1	回答電文	配送便回答	X	98	6	納品日と便を回答(メーカーによって多少異なります)	○	○	○	○	※3
T1		回答メッセージコード	X	104	2	回答メッセージコードをメーカーがセット	○	○	×	○	※3
U1		回答メッセージ	X	106	15	回答メッセージをメーカーがセット	○	○	○	○	※3
	システムエリア	X	121	8		-	-	-	-		

◎は必須項目

※3 下り電文 確認画面編集入力時は当電文も送信する。

在庫照会／発注(回答用追加レコード)

D: 明細部

	項目	タイプ	開始位置	桁数(バイト)	摘要	流通側セット			
						発注型在庫照会	発注	在庫照会	最終データ確認照会
P1	回答メッセージ	X	87	25	回答メッセージコード	-	-	-	-

	項目	タイプ	開始位置	桁数 (バイト)	摘要	流通側セット				
						発注型 在庫 照会	発注	在庫 照会	最終 データ 確認 照会	
R1	納品予定数	9	93	5	メーカー側で下り電文上にセット	○	○	○	○	
S1	回 答 電 文	配送便回答	X	98	6	無回答の場合はスペースがセットされま す 納品日と便を回答(メーカーによって多少 異なります)	○	○	○	○
T1		回答メッセージコー ド	X	104	2	メッセージコードをメーカーがセットしま す	○	○	×	×
U1		回答メッセージ	X	106	15	メッセージをメーカーがセットします	○	○	○	×
	システムエリア	X	121	8		—	—	—	—	

尚、詳細につきましては、TC-NET協議会事務局までお問い合わせください。

■ R-VANシステムのお問い合わせ先

TC-NET協議会事務局
〒530-0003
所在地: 大阪府大阪市北区堂島3-1-21 NTTDATA堂島ビル16F
(株)NTTデータ 内
TEL: 050-3521-8434 FAX: 06-6455-3346
E-mail: tcnet@green.ocn.ne.jp

第4章 納期目安情報連携サービス標準化内容

1. 基本データフォーマット >

1-1. データフォーマット

1-2. 納期目安項目の標準化パターン

第4章 納期目安情報連携サービス標準化内容

1. 基本データフォーマット

(1) データフォーマット

No.	項目	メーカー設定 必須項目	流通企業 向け表示	最大 バイト数	固定長/ 可変長	タイプ	内容	
1	ファイル作成日	◎	×	10	固定長	半角	納期目安ファイルを作成した年月日 (yyyy/mm/dd)	
2	メーカー名	◎	○	20	可変長	全角	メーカー名	
3	メーカーコード	◎	○	6	固定長	半角	サービス内でメーカーを一意に識別する コード	※1
4	流通企業コード	◎	×	6	固定長	半角	サービス内で流通企業を一意に識別する コード	※1
5	JANコード	◎	○	13	固定長	半角	商品を識別する13桁(もしくは8桁)のコード	
6	型番	◎	○	30	可変長	半角	商品の型番	
7	色/規格	○	×	20	可変長	半角	同型番商品の色違い、容量違いがある場 合に記入する任意項目	
8	販売日	◎	○	10	固定長	半角	店舗での販売予定年月日(yyyy/mm/dd)	
9	納期目安	◎	○	60	可変長	全半	「販売日」に注文があったと仮定した場合 の指定納期先に届くまでの日数の目安	※2
10	通信欄	○	○	60	可変長	全半	メーカー担当者から流通企業担当者へ のコメントなど	
11	カテゴリー	○	×	30	可変長	全半	商品カテゴリーを表す文字列	
12	予備項目1	△	△	60	可変長	全半	流通企業ごとの個別対応のための予備 項目。バイト数指定なし。	※3
13	予備項目2	△	△	60	可変長	全半	流通企業ごとの個別対応のための予備 項目。バイト数指定なし。	※3
14	予備項目3	△	△	60	可変長	全半	流通企業ごとの個別対応のための予備 項目。バイト数指定なし。	※3
15	予備項目4	△	△	60	可変長	全半	流通企業ごとの個別対応のための予備 項目。バイト数指定なし。	※3
16	予備項目5	△	△	60	可変長	全半	流通企業ごとの個別対応のための予備 項目。バイト数指定なし。	※3

◎: 必須、○: 任意、△: 連携先流通企業により異なる、×: 不要

※1 共通取引先コード6桁(半角数字)

※2 標準化パターンで設定

※3 流通企業のご要望に応じ利用する項目。連携先流通企業により必須/任意入力が変わる

(2) 納期目安項目の標準化パターン

No.	区分	標準化パターン	説明
1	数字で表記できる納期	数字	販売日を基準とした日数を半角数字で表記 例: 納期が7日後の場合: "7"

2	数字で表記できない納期	約1週間	表記形式：“約”+(半角数字)+“週間”	※1
3		約2週間		
4		約3週間		
5		約4週間		
6		約10日		
7	M月上旬	納期が1か月以上先などの場合に納品可能月内でのおよその時期を表す。		
8	M月中旬	納期が1か月以上先などの場合に納品可能月内でのおよその時期を表す。		
9	M月下旬	納期が1か月以上先などの場合に納品可能月内でのおよその時期を表す。		
10	納期が出せないもの	完了	完了となり、発注不可能な場合	※2
11		廃番	廃番となり、発注不可能な場合	
12		品切れ	メーカー側で品切れ、生産待ちのため確定納期、曖昧納期ともに不明の場合	
13		確認中	営業手配品など、メーカー担当者への確認が必要な場合	
14		新商品	新商品のため入荷時期未定の場合	
15		取扱可能	扱いは可能だが納期は別途確認が必要になる品目の場合	
16		契約対象外	契約外のため取り扱い(出荷)ができない品目	

M: 半角数字の1～12

※1 曖昧納期が5週間以上先となる場合、“M月上旬・中旬・下旬”、“品切れ”等を設定する。

※2 業務用機器のうち、取り扱いが可能であるが在庫を管理している部門が異なるため納期確認が必要となる商品

※3 業務用機器や流通企業向け専用モデル等

■ 納期目安情報連携サービスのお問い合わせ先

TC-NET協議会事務局
〒530-0003
所在地:大阪府大阪市北区堂島3-1-21 NTTDATA堂島ビル16F
(株)NTTデータ 内
TEL:050-3521-8434 FAX:06-6455-3346
E-mail: tcnet@green.ocn.ne.jp

第5章 JD-NETシステム概要

1. [データベースの内容](#) >

2. [検索機能メニュー](#) >

第5章 JD-NETシステム概要

1. データベースの内容

[1] 基本項目(漢字対応)

1. 商品分類コード	23. 外装高さ(mm)
2. 標準メーカーコード	24. 外装幅(mm)
3. ブランドコード	25. 外装奥行(mm)
4. ファンクションコード	26. 外装質量(g)
5. JANコード	27. 外装注釈
6. 型番	28. 本体保証期限(ヶ月)
7. 商品名	29. セールスポイント1
8. 商品愛称	30. セールスポイント2
9. 商品愛称英字	31. セールスポイント3
10. 発売日識別区分	32. 商品生産国コード
11. 発売日	33. 画像ファイル有無区分
12. 最新メーカー希望小売価格(税抜)	34. 公開年月日
13. 最新メーカー希望小売価格(税込)	35. 公開停止日
14. 課税区分	36. 製造停止日識別区分
15. 価格変更日	37. 製造停止日
16. 税率適用日	38. 商品ロゴID
17. 色名称	39. 長文コメント1
18. 本体高さ(mm)	40. 長文コメント2
19. 本体幅(mm)	41. 長文コメント3
20. 本体奥行(mm)	42. 特記事項
21. 本体質量(g)	43. 商品URL有無フラグ
22. 本体注釈	44. (メーカーHP参照用)商品URL

[2] 特性情報(漢字対応):各商品カテゴリ別に設定

例:液晶テレビ

1. 画素数(水平×垂直)	26. Blu-ray機能
2. 画面サイズ	27. HDD容量区分
3. 画面寸法(幅・高さ・対角)	28. 外付HDD対応
4. 表示解像度	29. 外付けHDD録画方式
5. 3D対応	30. 4K放送ダイレクト録画可能時間(HDD)
6. 倍速機能	31. SDメモリーカードスロット
7. LEDバックライト	32. H. 265/HEVCコーデック(再生対応)
8. 2画面表示	33. VP9コーデック(再生対応)
9. 地上アナログチューナー数	34. HDR信号入力対応
10. 地上デジタルチューナー数	35. スイベル機能

11. BS・110度CSデジタルチューナー数	36. スピーカー数
12. 110度CS4Kチューナー数	37. ウーハー／サブウーハー
13. BS4Kチューナー数	38. 音声実用最大出力(総合)
14. BS8Kチューナー数	39. ビデオ入力端子数
15. 124／128° CSデジタルチューナー数	40. 光デジタル音声出力端子数
16. Hybridcast対応	41. PC入力端子種類
17. ネット動画対応	42. D端子映像入力有無
18. 音声検索機能	43. USB端子数(合計数)
19. Skype対応	44. HDMI端子数
20. DLNA(ホームネットワーク)対応	45. LAN端子数
21. Wi-Fi機能	46. HDCP2. 2対応端子
22. Bluetooth	47. 消費電力
23. Miracast対応	48. 消費電力(待機時)
24. MHL対応	49. 年間消費電力量
25. ARC対応	50. 省エネ基準達成率

[3] 画像情報(JPEG)

- 本体画像
大: 640×480 ピクセル 正方形: 300×300 ピクセル
- サブ画像
160～1280×160～1280ピクセル
- メーカーロゴ
640×480ピクセル
- 商品ロゴ
640×240ピクセル

第5章 JD-NETシステム概要

2. 検索機能メニュー

項	メニュー	検索内容
1	商品件数	全商品を対象に、商品分類・メーカー別に件数を表示し、選択して各商品の詳細情報を表示。尚、新商品のみを対象に検索する事も可能。 (新商品とは、過去60日間に発売された商品と今日以降発売される商品を意味する)
2	商品検索	商品分類・メーカー・発売日・価格変更日・特性項目などの条件を組み合わせ、商品を絞り込んで検索し、各商品の詳細情報を表示。商品機能比較が簡単に行える。
3	JANコード・型番・キーワード検索	JANコードまたは型番またはキーワード(商品名称やセールスポイントなど)を入力することで、商品を指定した検索表示が行える。複数指定した商品情報の画像ダウンロードが簡単に行える。ワイルドカードの利用が可能。
4	全項目一覧	商品分類・メーカーを指定し、各商品の詳細情報(全項目)を表示。全項目情報のダウンロードが簡単に行える。

「ワイルドカード」… 任意の文字を指示するための特殊な文字記号のことで、Windows環境では“*”や“?”が該当。例えば型番がうる覚えでも“CTV*”と入力すれば先頭に“CTV”がつく型番を全て探してくれる機能。通常、“*”は複数文字、“?”は1文字の時に使用。

・一括取込機能はFTPを使い、基本情報・特性情報・画像情報・ブランドロゴ・商品ロゴの差分データの取り込みが可能です。

尚、詳細につきましては、JD-NET協議会事務局までお問い合わせください。

■ JD-NETシステムのお問い合わせ先

JD-NET協議会事務局
〒164-0012
住所: 東京都中野区本町2-46-1中野坂上サンブライトツイン15F
TEL: 03-5333-3193
E-mail: jd-net.jp@gfk.com
URL: <https://www.home-electronics-jd-net.ne.jp/jd-net/>

第6章 今後の取組み課題

1. [電帳法・インボイス対応](#) >

第6章 今後の取組み課題

電子帳簿保存法(23年12月猶予期間終了)、インボイス制度(23年10月施行)に対して、順次対応いたします。

キーワード検索(カテゴリー別)

EDI

標準EDI

- [第1章 1.家電業界EDI標準化の変遷](#)
- [第1章 2.標準EDIフローと受発注システム比較](#)

E-VAN(家電VAN)

- [第1章 2.標準EDIフローと受発注システム比較](#)
- [第1章 3-1-1.E-VAN\(家電VAN\)](#)
- [第2章 1.標準化共通項目](#)

TC-NET

- [第1章 3-2.R-VAN\(リアルタイム家電VAN\)](#)
- [第1章 3-3.R-Web\(家電Web受発注システム\)](#)
- [第1章 3-4.納期目安情報連携サービス](#)
- [第3章 R-VAN標準化内容](#)
- [第4章 納期目安情報連携サービス標準化内容](#)

R-VAN

- [第1章 2.標準EDIフローと受発注システム比較](#)
- [第1章 3-2.R-VAN\(リアルタイム家電VAN\)](#)
- [第3章 R-VAN標準化内容](#)

R-Web

- [第1章 2.標準EDIフローと受発注システム比較](#)
- [第1章 3-3.R-Web\(家電Web受発注システム\)](#)

納期目安情報連携サービス

- [第1章 2-4.納期目安情報連携サービス](#)
- [第4章 納期目安情報連携サービス標準化内容](#)

受発注

受発注データ

- [第2章 2.受発注データ](#)
- [第3章 R-VAN標準化内容](#)

在庫照会データ

- [第3章 R-VAN標準化内容](#)

納期回答データ

- [第2章 3.納期回答データ](#)

納品データ

- [第2章 4.納品データ](#)

欠品データ

- [第2章 5.欠品データ](#)

納品結果データ

- [第2章 6.納品結果データ](#)

SCM

実売データ

- [第2章 8.実売データ](#)

在庫データ

- [第2章 9.在庫データ](#)

移動データ

- [第2章 10.移動データ](#)

請求・支払

請求・支払データ

- [第2章 7.請求・支払データ](#)

標準化・ガイドライン

JD-NET(商品情報伝達システム)

- [第1章 3-5.新・商品情報伝達システム\(JD-NET\)](#)
- [第5章 1.データベースの内容](#)
- [第5章 2.検索機能メニュー](#)